
令和5年 第1回(定例)桂川町議会会議録(第3日)

令和5年3月9日(木曜日)

議事日程(第3号)

令和5年3月9日 午前10時00分開議

- 日程第1 一般質問
- 日程第2 議案第18号 令和4年度桂川町一般会計補正予算(第5号)
- 日程第3 議案第19号 令和5年度桂川町一般会計予算
- 日程第4 議案第20号 令和5年度桂川町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算
- 日程第5 議案第21号 令和5年度桂川町土地取得特別会計予算
- 日程第6 議案第22号 令和5年度桂川町国民健康保険特別会計予算
- 日程第7 議案第23号 令和5年度桂川町後期高齢者医療特別会計予算
- 日程第8 議案第24号 令和5年度桂川町水道事業会計予算
-

本日の会議に付した事件

- 日程第1 一般質問
- 日程第2 議案第18号 令和4年度桂川町一般会計補正予算(第5号)
- 日程第3 議案第19号 令和5年度桂川町一般会計予算
- 日程第4 議案第20号 令和5年度桂川町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算
- 日程第5 議案第21号 令和5年度桂川町土地取得特別会計予算
- 日程第6 議案第22号 令和5年度桂川町国民健康保険特別会計予算
- 日程第7 議案第23号 令和5年度桂川町後期高齢者医療特別会計予算
- 日程第8 議案第24号 令和5年度桂川町水道事業会計予算
-

出席議員(10名)

- | | |
|-----------|------------|
| 1番 林 英明君 | 2番 下川 康弘君 |
| 3番 柴田 正彦君 | 4番 杉村 明彦君 |
| 5番 大塚 和佳君 | 6番 吉川紀代子君 |
| 7番 北原 裕丈君 | 8番 竹本 慶吉君 |
| 9番 原中 政廣君 | 10番 青柳 久善君 |
-

欠席議員（なし）

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

事務局長 神崎 博和君

説明のため出席した者の職氏名

町長	井上 利一君	副町長	山邊 久長君
教育長	大庭 公正君	総務課長	横山 由枝君
企画財政課長	小平 知仁君	建設事業課長	原中 康君
建設事業課長補佐	横山 龍一君	住民課長兼会計管理者	北原 義識君
税務課長	秦 俊一君	保険環境課長	永松 俊英君
健康福祉課長	川野 寛明君	産業振興課長	小金丸卓哉君
子育て支援課長	江藤 栄次君	水道課長	山本 博君
学校教育課長	平井登志子君	社会教育課長	原田 紀昭君
王塚装飾古墳館長	尾園 晃君	社会教育課長補佐	吉貝 英貴君

午前10時00分開議

○議長（林 英明君） おはようございます。

ただいまの出席議員は10名です。定足数に達していますので、これより本日の会議を開きます。

日程第1. 一般質問

○議長（林 英明君） これより一般質問を行います。

順番に発言を許します。3番、柴田正彦君。

○議員（3番 柴田 正彦君） 柴田正彦、18回目の一般質問に入ります。とはいえ、私は桂川町議会の中で、議員としての経験が最も不足しています。先輩議員の皆さんに比べ、分からないことが多くあります。しかし、それは町の皆さんに感覚が一番近いとも言えると思われま。分からないこと、納得いかないことが余りにも多すぎるのですが、今回は7点に絞って質問いたします。

1つ、町長、5期目の重点施策。2、文化の薫り高い心豊かなまちづくり。3、転入定住化施

策。4、保育・教育。5、高齢者の健康。6、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業。7、桂川駅舎、観光案内所など。私の経験不足ゆえに、先輩議員が当たり前として質問されないことも質問することになるでしょう。答弁側も、御配慮の上、分かりやすく、的確に答えていただきますようお願いいたします。はぐらかさずに、分かりやすく、的確に答えてください。

井上町長5期目の最初の新年度予算が出されました。町長が、特に力を入れた施策について、幾つか教えてください。

○議長（林 英明君） 井上町長。

○町長（井上 利一君） 御質問にお答えしたいと思います。

5期目の重点政策ということですが、町政に対する基本的な姿勢は、4期目までと変わりはありません。健全な財政運営を念頭に置いて、福祉、健康、教育、コミュニティー、生活環境等の充実に努め、夢や希望を語り、豊かさと幸福感が実現できるまちづくりを目指してまいります。

重点施策といってもいろんな分野がありますので、全てを披露することはできませんが、あえて主なものとして、5つの項目を上げます。

まず、桂川駅の利用推進と移住定住の促進。次に、教育・保育施設の改善と環境整備。3つ目は、人材の育成と文化の伝承。4つ目は、地域コミュニティーの活性化と人権尊重、5つ目は、広域行政の推進、この5つを上げたいと思います。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） ありがとうございます。新年度予算も、それに沿って出されているのかどうか、そのところも、今後、私たちは審議していくことになります。また、これは午後で、私も新年度予算については質問いたします。

ではですね、町政報告で述べられたことの中で分からないことがありますので、3点教えてください。

1つ目、ふるさと応援寄附金事業の中で、クラウドファンディング方式の導入の検討と言われました。私は、これはありだなと前から思っていたのですが、この町長の言われているクラウドファンディング方式の導入の検討は、どういうことでしょうか。

2つ目、町道の土居四角から郵便局の駐車場までの道路改良を言われました。これについては、以前にも触れられて、吉川さんが質問される中で、いや、課題として上げているんだと言われたように思っていますが、また上げられたということは、何らかのことがあるんでしょうか、教えてください。

そして、3点目ですが、今度はね、町政報告で述べられなかったことなんです。ワンヘルス。県議会で、議員提案で2020年12月、福岡県ワンヘルス推進基本条例を制定しています。そ

して、2022年10月14日、「環境と」環境が入っているんですが、環境と人と動物のよりよい関係づくりと福岡県におけるワンヘルスの実践促進に関する条例を制定しています。福岡の県議会だよりも、ちゃんと出されている文です。

この取組については、林さんが以前の一般質問で取り上げられています。人と動物でなく、環境まで含んだ条例です。だから、私は今回、環境問題を考えたときに、農薬、化学肥料に頼らない有機農業の推進が、ワンヘルスにつながるだろうと考え、そういう補助金等が県から出てくるんじゃないかなと思いました。

新年度予算、見る限りは、余り理解できないんですが、町の取組が分かりませんでした。このワンヘルスの取組、特に環境問題というところで、どうお考えでしょうか。

以上、クラウドファンディング、道路改良、ワンヘルスについて教えてください。

○議長（林 英明君） 井上町長。

○町長（井上 利一君） ちょっと御質問にお答えしたいと思いますけれども、質問の通告書の中に、こういった項目は全く入っておりません。的確に答えてほしいという、議員からの要望もございました。的確に答えるためには、質問の内容について、十分協議し、そして、また答えたことについては、責任を持つ必要があると思っております。

今、概ね3つの項目について質問が出されました。十分な準備ができておりません。そのことは、ぜひ御理解願いたいと思います。

そういう中で、私が現在感じておりますのは、クラウドファンディングにつきましては、いわゆる、ふるさと応援寄附金等々の関係もありますし、本町が抱えておりますいろんな課題があります。

その課題を解決していくための一つの資金として、皆さん方に協力をお願いするという中で、これは、まだまだ私の気持ちの中かもしれませんけれども、例えば王塚古墳に関する保存活用、こういったことについては、今後、取組によって大きな影響があると思っておりますので、そういう意味で活用することもできる。

あるいは、課題になっております教育・保育施設等の設置改善、このことについても、対象としては考えられるんじゃないかというような、そういう気持ちを持っておりますし、職員の何人かには、そのような話をしたところであります。

それから、次の土居瀬戸線につきましては、旧といいますか、土居四角から、あの角の家が売りに出されて、そして、新しく購入された方との協議の中で、将来にわたっては、あの路線の改良が必要であるということから、議会に提案をしたところであります。

その後、その後といいますか、そのことと、それから路線ですから、あの四角から郵便局までの区間、これ、全体的にですね、改良していく必要がありますので、その取組の姿勢を出したと

ころです。今後、具体的な計画を立て、場合によっては、測量調査等が必要になってくると、そのように考えています。

それから、ワンヘルスについてですけれども、御指摘のように、人と動物、地球環境、いろんな課題があります。私自身、専門家でも何でもありませんので、詳しいことは、なかなか理解できておりませんが、私自身も含めて、こういった観点から啓発をしていく必要があると、そのように思っています。

県の段階では、こういうワンヘルスに関する施設が開設されるようにも聞いておりますけれども、まだまだ具体的な内容については、連絡は受けておりません。いずれにしても、このワンヘルスは、もう世界規模で考えなければならないことでもありますけれども、本町におきましても、いろんな機会をとおして啓発活動に努めたい、そのように思っております。

○議長（林 英明君） 柴田君、質問の内容に、質問通告書どおりに、よろしく願いいたします。

○議員（3番 柴田 正彦君） すいません。言い訳、言います。町政報告について質問する場がないんです。一番大事な、それに対して質問する場がないんです。

つまり、3月2日に、僕らは質問趣旨を出します。町長の話聞くのはそのときなんですよ。ということは、その段取りを、今後、変えてください。町政報告を、一番大事なものですから、特に新年度予算です。今後は、それを見た後に、僕らが質問趣旨を出せる形をつくっていただきますよう、お願いします。町長の言われることは分かりますけども、よろしくお願いします。

また、ワンヘルスは理念の問題ではなく、実際の問題です。今後、どう取り組んでいくのか、ともに考えましょう。

では、2に入ります。「文化の薫り高い心豊かなまちづくり」、資料1は、先ほど言われた本町のふるさと納税の御案内から取ったものです。町長の写真のある横あたりに、「文化の薫り高い心豊かなまちづくり」とあります。

これは、町長がいろんな御挨拶の中でも、よく多様されるところのフレーズです。それで、町長の考えられている「文化の薫り高い心豊かなまち」のイメージについて教えてください。

○議長（林 英明君） 井上町長。

○町長（井上 利一君） 言葉の解釈と申しますか、イメージと、言葉から来るイメージということですから、その人の立場によってですね、ずいぶん解釈が変わってくるものと思われま。しかしながら、この「文化の薫り高い心豊かなまちづくり」というのは、いわゆる町がつくっております総合計画、この第3次総合計画、平成3年3月につくられたものですけれども、この中に、この言葉が出てまいります。

このときの表現としましては、「文化の薫り高い心豊かなまちづくり」、これをキャッチフ

レーズとして前置きをしまして、一つに、緑に包まれた高利便性の住みよいまち、2つ目に、産業文化に支えられた活力あるまち、3つ目に、豊かな心と健康な体を育む潤いのあるまち、4つ目に、古墳文化を継承する文化薫るまちの柱が立ててあります。

私自身が持っているイメージとしましては、本町にあります国の特別史跡王塚古墳、これは、この地が、いわゆる王塚古墳があるということは、この地が、古代から人々が住みやすく、また災害が少ない地域であったと考えられます。それに、王塚古墳ほど見事な全面装飾を施した装飾古墳は、全国に例がなく、貴重な文化遺産であることは間違いありません。

本町にとっての文化を考えるときに、この、こういった文化遺産を大切にしながら、守りながら、現在の生活文化を創造していく中に、独自性の高いまちづくりが期待できると思っています。

また、緑豊かな自然を生かし、快適な生活環境をつくるとともに、福岡都市圏との利便性を高め、若者が夢や希望にあふれ、働く人が生きがいを感じ高齢者が安心できる町、住んでいる人たちが、穏やかに、心豊かに住み続けられる町、そういう町でありたいと思っていますし、そういうイメージを持っています。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） では、分かったようで分からないので、次に行きます。

「文化の薫り高い心豊かなまちづくり」のために、町長は16年間でいろいろ取り組まれたと思いますが、その中で、これという施策を教えてください。

○議長（林 英明君） 井上町長。

○町長（井上 利一君） 先ほども言いますように、これは、一つの言葉としての表現でありますから、そしてまた、まちづくりの理念という形で掲げています。よって、これまで、私自身が取り組んできた施策、これは全て関わりがあると、そのように思っています。

ただし、あえて申し上げれば、特に王塚古墳に関わるハード事業、あるいは古墳の公開、祭りなどのソフト事業、桂川駅及び周辺の整備、町営住宅の建て替え事業、生活基幹道路の改修、文化事業の活性化、自主防災組織の充実、そういったものが、全て人々が生活していく上において、欠かすことのできない大切な事業であると、そのように思っています。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） ということは、次の質問の新年度予算の中の新たな取組と予算も、同じ答えで、全てと言われるんですかね。何か、特にこれをという、用意されているのがあったら教えてください。そして、そのための予算がありましたら、幾らかまで教えてください。

○議長（林 英明君） 井上町長。

○町長（井上 利一君） 新年度の新たな取組としましては、施政方針でも一部述べましたように、国・県の動きに合わせた取組は、これまで準備を進めてきた事業の開始などがありますが、特に

重要と考えていますのは、桂川町史の編さん、国のこども家庭庁の発足に伴うこども家庭センターの設置の準備、デジタル化の推進、いわゆるDX、デジタルトランスフォーメーションの対応、この3点だと考えています。

ただ、このこのことに関する予算というものは、今回の当初予算には、具体的に計上していません。3つとも、準備段階といいますか、これからスタートするということになります。

いわゆる、スタートして、そして必要となる経費が見えてきましたら、それに併せて補正予算を計上していきたいと考えておりますので、よろしくをお願いします。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） 計上する前に、どんな形でかは、前もって御相談が議員にあったほうが、論議になると思われます。

なお、「文化の薫り高い心豊かなまち」と言っておけば、全て入ると言われれば、実際に、本当に、桂川町、「文化の薫り高い心豊かなまち」になっているんですかね。なっていますか、よく言われるんですよ。「あげんこというけど、住民センター、ボロボロやん」とか、「あげんこと言いんしゃけど、古墳館のこと、どれだけ皆が分かっとな」、あくまでも理念って言われるんだけど、小学校の国語辞典には、理念というのは、何を最高のものとするかについての根本的な考え、じゃあ、それに沿った施策、すべからくなってるのか。

町職や議員の一人一人が、そういった意識を持ちながら生きているのか、仕事をしているのか、町長、言葉が空回りしているような気は、どっかで僕はしているんですよ。お題目では困りますので、しっかりしたものにしていくためにはどうなのか、もう一度、これは僕も整理して、質問をさせていただきます。

では、3、転入定住化施策に入ります。

本年度の飯塚市独自の転入定住の取組について教えてください。

○議長（林 英明君） 小平課長。

○企画財政課長（小平 知仁君） 独自というところの意味するところをですね、一般財源で実施しているものというふうに捉えまして、御回答いたします。

飯塚市の移住定住サイトを拝見しましたところ、まず1つ目、筑豊地域外からの移住者が住宅を購入した場合に100万円を支給する移住者住宅取得奨励金制度。2つ目、転入者及び市内転居者でも申請可能で、築10年以上の中古住宅取得をした場合の購入費の1割、上限30万円を交付する中古住宅取得補助金制度。3つ目、市内施工業者に依頼し住宅リフォームをする場合に、工事費の1割、上限8万円を交付する定住促進住宅改修補助金制度などが該当すると思われます。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） さっき言われたように、住宅取得移住奨励事業費は、筑豊圏外以

外からの転入者となっている。だから桂川の人 came ときには対応できない。だから、つまり筑豊地区に気を使ってやってくれています。

これは9月議会の一般会計補正予算で、飯塚市は1億1,160万円を増加しています。予定したのは、オーバーしそうだから、実際はオーバーしたんです。そしてさらに、ここで補正を1億円入れています。1件が100万円プラスとすれば、大体100件分ぐらい考えています。これだけのプラスがあっている。これだけの移住があっている。

では、2つ目。本年度の嘉麻市の独自の転入定住の取組について教えてください。

○議長（林 英明君） 小平課長。

○企画財政課長（小平 知仁君） 同じように、嘉麻市の移住定住サイトを拝見しましたところ、まず1つ目、市外から夫婦等が転入し住宅を取得する場合、新築で200万円、中古住宅で100万円を支給し、さらに子供を含む世帯や、市内施工業者による施工販売の場合の加算により、最大300万円までを支給する転入者等住まい応援交付金。2つ目、嘉麻市空き家バンクに登録された住宅をリフォームする場合に、工事費の5割、上限50万円を交付する空き家改修事業補助金などが該当すると思われま。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） 実はですね、嘉麻市の補正予算で、嘉麻市転入者等住まい応援交付金2,250万円を増加させています。これは、国の交付金と自主財源で行っているようです。取り組みれば、それ以上の効果が出ています。あとは、費用対効果がどうかの検討でしょう。

さて、では桂川町、本年度の桂川町独自の転入定住の取組について教えてください。

○議長（林 英明君） 小平課長。

○企画財政課長（小平 知仁君） 本町におきましては、まず1つ目、本町に新たに住宅を新築、または中古住宅を購入し、まちづくりや地域づくりに参画していただける世帯に対して、翌年に課税される固定資産税相当額の金券、上限10万円と、本町のふるさと応援寄附金の事業の返礼品として取り扱っております特産品の2品を贈呈します移住定住奨励金等交付事業。2つ目、町内の施工業者に依頼して住宅をリフォームする場合に、工事費の1割、上限10万円を交付する住宅改修支援制度が上げられると思います。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） その施策を行って、何件の転入があったんですか。また、予算、どのくらいか分かったら教えてください。

○議長（林 英明君） 小平課長。

○企画財政課長（小平 知仁君） 補助の制度の説明しましたように、翌年度の固定資産税ということなので、これがあつたから来られたっていうかどうかは、ちょっと、正直分からないんです。

けれども、令和3年度の実績で言いますと、この交付金事業で、47件、交付がありました。

そのうちのですね、予算額は648万円なんですけど、そのうちの15件が町外からの転入された方というふうには聞いております。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） ありがとうございます。では、桂川町、新年度4月からになりますが、桂川町独自の取組があったら教えてください。

○議長（林 英明君） 小平課長。

○企画財政課長（小平 知仁君） 新たな取組ということなので、お答えしますけれども、移住定住施策は、現在当課が所管しておりますけれども、幅広くアイデアを募り、多角的に検討するべく、新年度にですね、庁内横断的なワーキンググループを設立したいと考えております。

その中で、効果的かつ現実的な施策の形成を図ってまいりたいと考えております。予算はございません。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） つまり、1周2周、出遅れているということになります。12月の移住定住について、私の質問に、井上町長は、あれこれするんじゃないみたいな言い方され、その特別な施策よりも、独自性を生かしたまちづくり、桂川町自体に魅力、あるいは住みたいと思う、そういったものが出てくるようなまちづくりを進めていく必要があると、他人事のように言われたんです。

16年間、町長されて、住みたい町、住みたいと思う町をつくりあげたという自信が、持って言われているのかどうなんだろう。私は、将来、不安なんです。だから質問を続けて、何とかせないかんと思っているからです。

人口が減ったら、その分だけ交付金も減ります。役場職員も減りますよ。今、受けている住民サービスも減りますよ。全国的に人口が減っているんだから、しょうがないんじゃないというような言い方を12月にはされましたが、でも、増やしているところもあるんです。いや、減ってるからこそ、いろんな施策を打っているんです。

飯塚市も嘉麻市も、知恵を出して施策を打っているんです。桂川町自体に魅力、あるいは住みたいと思う、そういったものが出てくるようなまちづくりを進めていくと言われていますが、いつそんな日が来るんですか。何か横綱相撲ですよ。相撲で言えば。関脇・小結クラスの飯塚、嘉麻だって、これだけあがいてんです。前頭15枚目ぐらいの桂川町は、横綱相撲、はい、胸合わせて、がっぷり四つでやりましょうなんて、無理ですよ。猫だましでん、けたくりでん、八艘飛びでんやって、いろんな手立てを考えて、人口が減ることを少しでも食い止める必要があると思います。大きいことは僕も分からないんです。そこで、些細な取組ですが、提案します。

何度か申しましたが、桂川町は、なぜか合計特殊出生率、女性が一生に産む子供の数と相当すると言われていて、この合計特殊出生率は高いんです。飯塚市よりも総じて高い。嘉麻市よりも高い。福岡県の平均よりも、国の平均よりもずっと高い。なぜか分かんけど高い。しかし、残念ながら、小学校に入る前に町外に転出する子供さんが、平均すると四、五人いる。つまり、この「出」をどうしていくのかは課題です。

だから、前にも言いましたが、転入する方、転出する方にその理由を尋ね、分析し、施策に結びつける必要があると思うんです。町で取り組む、取り組みませんか、町長、どうですか。

○議長（林 英明君） 井上町長。

○町長（井上 利一君） ちょっと質問、最終的な質問は、新たな取組をしないかということによっていいんですかね。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） 転入転出の理由を尋ね、分析し、施策に結びつける具体的な行動をしませんかと言っているんです。

○議長（林 英明君） 井上町長。

○町長（井上 利一君） 先ほども申し上げましたように、移住定住は町の課題であると認識しております。そういった調査研究についても、当然やっていきたいと思っております。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） できたら、一緒に語ってやりたいです。お願いします。

12月の一般質問でも、西日本新聞の記事を紹介しながら話しました。博多まで30分なのに、人口が少しずつ減っている桂川町。桂川町の停滞、僕は停滞と見ていますが、町長に責任があると思います。そして、私たち議員に責任があります。私にもあります。じゃあ、どうしたらいいのか。僕には分かん。先ほど言った、些細なことしか分かりません。

だったら、飯塚市や嘉麻市の取組に学びましょう。また、桂川町と同じような自治体で、成功している自治体がありますので、目を向けましょう。徹底的に研究しませんか。

北川正恭さんっていらっしゃるんです。神奈川知事をされていて、今、早稲田大の名誉教授。マニフェストということを提起された方です。彼がよく言うんですが、TTPっていうんです。TTP、徹底的にパク。優れた政策を徹底的に研究してパク。僕には能力はない。僕たちには能力がないならば、よその方施策、徹底的に調べて、桂川町に合ったものにする。それならできるんじゃないですか。

いろんな施策を考えていきたいって、町長、言われました。いろんな研究をしていきたいと言われました。他の自治体の取組を、そういう意味で、桂川町に生かせるのかどうか、徹底的に研究しませんか、どうですか。

○議長（林 英明君） 井上町長。

○町長（井上 利一君） 研究することは、それは、もう当然しなければいけないと思っておりますが、議員の先ほどの発言の中で、いわゆる桂川町は停滞している。だから、飯塚市、嘉麻市のまねをすればいいというようなことを言われました。

私は、これはやっぱり、それは違うと思うんですね。飯塚市、嘉麻市、桂川町の現状、実情、そういったことから考えて、単純に比較するべきではないと思っています。やっぱり、それぞれの実情に応じて、それぞれ苦労しながら、工夫しながら取り組んでいる経過があります。

お願いしたいのはですね、そういった取組のよさ、桂川町には桂川町のよさがあるんですよ。思いませんか。じゃあ、議員も、今、桂川町に住んでいるじゃないですか。

そしたら、やっぱりよさは感じると思うんですよ。私どもは……。

○議員（3番 柴田 正彦君） ごめんなさい。よさ、感じていますよ。そこを言っているんじゃないよ。今は、移住定住の問題ですよ。

○町長（井上 利一君） 要は、だから、そうなんです。だから、その根底にですね、根底に、そういう町に対するよさ、あるいは、若い者たちに、町に対する誇りを感じてもらう、そういうような意味での取組、それも必要です。

先ほどから言われるように、飯塚市、嘉麻市のお金の問題。お金の問題で人口を増やそうと、それも一面あるかもしれませんが、それが全面に出てきたらですね、これは本当におかしなことになります。だから、そういう意味からしましても、議員と私どもの方向性は、違うかもしれません。

少なくとも、先ほど言いますように、先進地の事例に学ぶことはあってもですね、それを、そっくりまねをするということでは、決して成功はしない。そのように思っています。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） 全く同じなんです。どこが違うんでしょう。

ちなみに、僕、この町、好きです。だから議員になりました。最後、もう一つ何かできないかと思って、議員になったんです。何もできないもどかしさも感じています。なお、飯塚と嘉麻の同じことをしているとか、いわん、取組に学ぶ、いろんなことを取り組んでいる、そこを学ばって言ったんです。「せえ」とか言っていません、一言も。

ついでに言えば、徹底的にパクるって言ったんです。施策を調べる。とことん調べて、桂川町のものに焼き直してやりましょうって言うんです。町長は、あちこちのまねしたってしょうがないって、何をしてきたんですか。

私たちは何をしてきたんですか。そこを自分に問うてるんです。多分、同じことを言っているんですけども、私は自分の力のなさを感じて言っているだけです。反論あったら言ってくださ

い。

○議長（林 英明君） 井上町長。

○町長（井上 利一君） 先ほど議員が言われましたように、多分、同じこと言ってんだらうという、そういう感覚は、私もちょっと持っています。でも、何かがずれていると、2人の中ですよ。二人の意見の中では、何かがずれていると思っています。

それは、私はやっぱり町長として、この町の、今やっている行政について、全ての責任は感じております。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） 今のでいいのか。どうなんだ、何とかせないかんのか。もう、その辺の感覚は、ちょっと違うのかなと思っています。僕もシビックプライド、つくるのが大事だと思っています。本当にあるんですか、一人一人。ずれてしまいました。ごめんなさい。

新しい取組、新年度の桂川町独自の取組に関わるところで、そのための予算を教えてください。

○議長（林 英明君） 小平課長。

○企画財政課長（小平 知仁君） 取組は、先ほど申し上げたとおりで、それに関しては予算はございません。その中で制度設計できてですね、施策として提供できるものがあれば、その際は、予算審議をお願いしたいと思っています。よろしく申し上げます。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） ぜひともお願いします。そして、これが文教には、うちは所管じゃないので、ぜひとも総務の中でも、常に論議をお願いいたします。また、論議した中身は、委員長報告の中で教えてください。

次です。4、保育教育に入ります。

一昨年、吉隈保育所民営化の提案が行われたとき、一昨年、私は、町立保育所を減らすので、相当な額の町費が浮くことになります。そのお金は、保育所、保育園に使っていただけますよねと問いました。井上町長は、全てとは言えませんが、重点的に配分いたしますと答えられました。

お尋ねします。新年度、新たな取組があったら教えてください。

○議長（林 英明君） 江藤課長。

○子育て支援課長（江藤 栄次君） 就学前の取組、新年度の新たな取組でございますが、まず、1点目でございます。町内の私立保育園、善来寺保育園、吉隈保育園さんのほうで、延長保育事業を実施していただきます。

2点目でございます。吉隈保育園で一時預かり保育事業を実施する予定でございます。令和5年7月から実施に当たりまして、国県の補助金を活用しまして、町といたしましても、支援をしていきたいというふうに考えているところでございます。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） せっかくの場ですから、延長保育事業、一時預かり事業について、少し説明をお願いいたします。

○議長（林 英明君） 江藤課長。

○子育て支援課長（江藤 栄次君） まず、延長保育事業でございます。

延長保育事業につきましては、吉隈、善来寺保育園で行いまして、現在の保育の預かり時間が7時30分から18時30分でございます。これを15分前倒しし、早めまして、7時15分から18時15分になります。

そして、この延長保育事業でございますが、18時15分から18時45分、30分延長して、お子様を預かるような形で実施をするようになっております。

なおですね、この延長にかかります料金につきましては、これは、その保育所に通っているお子様に限定になりますので、ちょっと詳細につきましてはですね、保育園のほうから利用の保護者様にお知らせがあると思いますので、この場では、ちょっと変更等あったらあれですので、金額等は控えさせていただきたいと思っております。

続きまして、一時預かり保育でございます。これにつきましては、在園児以外で保育を希望されるお子様の預かりを行う事業でございます。これにつきましては、吉隈保育園で実施していただく予定でございます。

これにつきましては、保育園が開園してる日ですね。基本的には月曜日から土曜日までございまして、8時半から16時30分の時間内に実施をさせていただきます。なお、利用料につきましては、半日4時間が1,500円、1日が8時間で予定しているところでございます。

また、持ち物その他ですね、詳細がございますので、これにつきましては、広報等で、今後、お知らせしていきたいというふうに思っております。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） 朝15分、それから夕方15分が実質としてありますので、この一番忙しい時期に預かっていただけるということは、保護者にとっては非常に助かるだろうと思っております。今後とも、そういったいろんな手立てを取っていただければと思います。

また、町長が怒られるかと思いますが、嘉麻市は、実は、新生児1人につき5万円支給と、出産祝い金事業費900万円を予定しています。180人分ですかね。飯塚市は、第3子以降の出生児10万円給付を、新年度予算で、2つとも、2市とも上げていますが、桂川はこのような取組は考えられていますか。町長、お願いします。

○議長（林 英明君） 井上町長。

○町長（井上 利一君） ただいまの質問は、令和5年度の予算に計上しているかという意味です

か。

○議員（3番 柴田 正彦君） はい。計上しているか、また計上しないなら、今後考えていくかということですか。

○町長（井上 利一君） ちょっと、詳しいところまでは承知しておりませんが、はい。

○議長（林 英明君） 江藤課長。

○子育て支援課長（江藤 栄次君） 予算につきましては、計上いたしておりません。

○議員（3番 柴田 正彦君） ないよね。

○議長（林 英明君） 井上町長。

○町長（井上 利一君） 今後を検討していく必要があると思います。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） お金の問題じゃないんだけど、お金の問題もあるんです。

続けて、保育士確保の取組に入ります。

町長、この町の現在の待機児童数を御存じですか。

○議長（林 英明君） 江藤課長。

○子育て支援課長（江藤 栄次君） この件につきまして、私のほうから報告させていただきたいと思います。

毎月ですね、委員会のほうには報告させていただいておるところでございますが、現在、私が報告、承知受けている数につきましては、合計で21名、0歳が20名と1歳児が1名が待機児童というふうになっておるところでございます。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） 町長に聞いたのは、私たち、いつも聞いているんです。毎月聞いています。必ず待機児童、何人ですか聞いています。

3月2日、文教厚生委員会報告でも述べたように、待機児童の解消には、保育士の確保が必要です。保育士の成り手が減っていく中、どのような保育士確保の手立てを取っていくのですか。教えてください。

○議長（林 英明君） 江藤課長。

○子育て支援課長（江藤 栄次君） 保育士確保の手立てでございますが、まず、公立保育所、土師保育所についてでございますが、2月に職員採用試験を実施いたしまして、令和5年4月1日付で、正規職員、保育士の2名を採用決定していただいているところでございます。

また、町内の私立保育園2園に対しましては、新規採用保育士就職準備補助金、保育士補助者雇上げの支援補助金、また障がい児受入れのための保育士加算加配に対する要個別支援保育事業補助金等により、善来寺、吉隈、両2園に対しまして、補助金等により、保育士確保の取組を支

援しているところでございます。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） 補助金によりと言いますが、桂川町の手出しも、当然あるということでしょうか。

○子育て支援課長（江藤 栄次君） はい。当然、そのとおりでございます。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） ある面、桂川町独自の無いということですね、完全に、全ては。

○議長（林 英明君） 江藤課長。

○子育て支援課長（江藤 栄次君） 今、申し上げた分につきましては、国県の補助金を活用しておりますが、細かいところにおきましてはですね、園の活動においてバス、移動用にバスを使われる場合につきましては、町のバスを利用していただいたり、観劇とか、そういう園の行事につきましてですね、個別の補助金は単独で出しているところでございます。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） 保育士確保と、またちょっとずれたところになると思います。

奨学金のような形で、飯塚市は保育士修学資金貸付事業を行っています。1人5万円、1月ですから、5万円掛ける12月、60万円を45人分用意しています。予算が2,700万円が上がっています。

原中さんは奨学金の話をされていますが、桂川町でも何らかの形で取組は可能ですか。検討はされますか。町長、どうでしょうか。

○議長（林 英明君） 井上町長。

○町長（井上 利一君） 奨学金の件については、教育長が答弁をいたしました。今後、公費的な面も含めて、検討していくということでございます。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） また、保育士は特に、また少し別途でも考えていただければと思います。

先ほどの僕の待機児童の質問に関するんですが、町政報告の中で、町長は新年度の待機児童がゼロと言われたんです。しかし、去年もゼロ、その前もゼロなんですよ、実は。新年度はゼロなんですよ。ご存知でしょうけど。だって、5歳児が小学校に入学するんですから、その分いないんです。

桂川町の場合は、4月、5月あたりは何とか頑張ってきます。ゼロですが、だんだんと待機児童が出てきます。それは、子供さんが成長するので、そろそろ自分も働きに出ていこうか、保育所に預けて出ていこうかと思う保護者がいるからです。

さて、7日の竹本さんの幼稚園に関する質問、桂川幼稚園で年度途中です。満3歳になった児童の受入れは可能ですかという質問がありました。いろいろあるけど、できるようにはしていきたいという回答だったと思います。

さて、では、保育園、幼稚園考えてください。同じことが言えますか。うちの子も成長してきて、そろそろ保育所に預けたい、預けれるようになります。預けたい。じゃあ、保育所、預かってもらえますか。できないから待機児童が出ている。働きたいけど働けない保護者がいるんです。現在21人。

桂川町は、なぜ幼稚園だけ優遇するんですか。この言葉は、私が保育所、幼稚園に目を向けるようになった、きっかけの言葉でした。桂川町は、なぜ幼稚園だけ優遇するんですか。確かにと思いました。

4月には待機児童は出ないかもしれませんが。というか、今、出ていませんが、いずれ出るんです。このままやったら。この一番の要因は保育士不足です。12月議会でも申しました。幼稚園の先生を保育所に移動することを考えてもらえますか。どうでしょう。

○議長（林 英明君） 井上町長。

○町長（井上 利一君） 人事につきましては、適切に対応します。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） 12月に言ったように、常にそう言われて、常に何もやっていなかった。7日の一般質問で、竹本さんは認定こども園についても尋ねられました。

これは、私も言ったことがあります。いずれそうなるしかないと見えています。桂川の土師保育所と幼稚園の認定こども園、こども園にしていく、これしか、多分、手立てはないんじゃないかなと思っています。

将来の就学前の職員配置を考えたときに、幼稚園の先生の保育所への異動とともに、保育所から幼稚園への移動も考えるべきとも思っています。つまり、少しずつ一体化していく。そんなに時間ないですよ。

県内の公立園で、多分、最も優れた保育事業が行われているのは桂川幼稚園です。それだけのものや、人が入っている。そこには優れたノウハウがあります。それをもって保育所で展開してほしい。また、保育所の先生には、幼稚園に行って、その優れたノウハウを学んでほしい。だから、幼稚園と保育所、ここの移動も考えていくべきと思うんですが、町長はそんな考え、おありですか。

○議長（林 英明君） 井上町長。

○町長（井上 利一君） 先ほどもお答えしましたように、人事につきましては、適切に対応します。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） 適切にお願いいたします。何度も申し上げていますが、子育てしやすい町にすることが、何よりの移住定住施策だと考えます。

では、次の質問です。

小学校、中学校に対して30人学級措置など、多くの施策が行われています。新年度、新たな施策がありましたら、教えてください。

○議長（林 英明君） 教育長。

○教育長（大庭 公正君） 新たな取組ということではありませんが、やはり、教育は、日々の営みを続けていくということは、非常に大切なところではないかなというふうに思います。

その中でも、まず学力向上のための授業改善として、これまで1単位時間の授業構造として、本町で作成いたしました桂川町授業スタンダードというのがございますが、その分をバージョンアップして、習得型であったり、課題解決型という達成目標に応じた授業スタンダードに改善して、日々の授業実践に取り組みせようとしています。

また、次に県の指定事業でもございます情報活用能力、情報能力活用事業をさらに進化をさせて、タブレットをはじめ、電子黒板等の情報機器の常時活用、そして学習支援ソフトを活用した授業構築などを実践させ、個別最適な学びに向かわせようとしています。

さらにですが、中学校の部活動の地域移行というのに向けて、これは、まだ仮称でございますが、部活動改革協議会なるものを立ち上げて、令和8年度から中学校の部活動がスムーズに移行できるための方策を、協議をしていくようにしています。

その他、様々な計画を練って、小中学校の教育のレベルを高めてまいりたいと思っておりますので、議会の皆様方の御支援をお願いしたいというふうに思います。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） 確かに部活に関しては、新年度予算にも上がっていました。そういったことをするということがですね。ただ、いずれにしろ、それも教師の超勤をないようにということでしょうが、いろんな取組はしてほしいんですが、それが超勤につながらないような形で、ぜひ、よろしくお願いしときます。

ではですね、今のは学校ですが、保護者に対する事業として、飯塚市では、入学時に5万円給付します。嘉麻市では、これは吉川さんがいつも言われているところですが、18歳まで入院退院とも、自己負担なしにしています。

町長にお尋ねします。今回、そのような新年度予算は入っていなかったとは思いますが、今後考えていく、検討することはありますか。

○議長（林 英明君） 井上町長。

○町長（井上 利一君） 一般質問等で提示されたことについてはですね、もちろん回答の中で申し上げておりますように、検討していくべきもの、そういったものはもう十分あると思います。ただ、今、議員が申されます、いわゆるお金の問題ですね。そのことについては、ちょっと細かくは承知しておりません。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） 何もかもするというようなことで言いよるんやないですよ、僕も。だから桂川町らしいものを、やっていくことを考えてください。

何も施策をしなかったら、少しずつ、僕は後退すると思っています。施策があるからこそ、暮らしやすい、住みよい町になるんです。

なお、町長、御存じと思いますが、本年度、桂川町で生まれた子供さんが極端に少ないんです。僕は、合計特殊出生率、高いですよって言っていたけど、今回、物すごい減っています。全国減ってるけど、その割合よりも、はるかに減っている。やっぱり危機的な状況は来ていると思っていますので、よろしくお願いします。

では、次の質問に入ります。

総合高校との連携です。

2年前、2021年3月9日、ちょうど今日です。私は、この一般質問の場で、新聞記事、鞍手竜徳高校と商工会の連携協定、この記事を読み質問しました。鞍手竜徳高校と商工会が連携してやっっていこうという、連携しようという協定を結んだということでした。

鞍手竜徳高校は、嘉穂総合高校と同じように、幾つかの高校を統合して生まれました。私は、この記事を読んだときに、桂川町も、嘉穂総合高校があるんだから、可能なんじゃないかと思いました。

そこで、一般質問をしたんですが、資料2は、2年前に行った嘉穂総合高校との交流や連携という質問への回答です。資料2です。

桂川小、東小の1年生が、動物見学で学校訪問、高校を訪問。桂川小、東小の高学年が、プログラミング学習として、嘉穂総合高校内のパソコンを活用して生徒とともに活動。東小の2年から4年が野菜の栽培活動で、年間を通じて交流。ふるさと応援基金として、農業食品科の生徒さんが作ったお米とジャム、工業科の生徒さんが作った文鎮、普通科、ファッションデザイン選択の生徒さんが作ったマスク、これをセットで、ふるさと応援金の返礼金としている。なお、現在は、文珍が鉄製のしゃれた箸置きに変わっています。また、マスクはエコバックになっています。

ほかに上がっていたのは、秋の王塚古墳祭りのときに、体験コーナーのスタッフとして参加。ポニーを会場に連れての乗馬体験、総合高校で作られたお菓子や加工品の販売。また、いいバイ桂川においても、年五、六回、出張青空市などと、嘉穂総合高校からは想像以上に多くのことを

してもらっていました。

また、桂川町社会福祉協議会「おおぞら」ナンバー179には、福岡県立嘉穂総合高等学校の生徒が、昨年12月3日に、生徒が開発した王塚装飾古墳ステンドグラスクッキー50袋を届けたということが書かれていました。地元桂川町を、もっと元気にしたい。古墳館にもっと来てもらいたいと思い、先輩方が王塚装飾古墳をイメージして、スイーツを2018年度から開発して、来館者に渡してもらっており、今回で5度目となりましたとあります。これは新聞にも報道されていました。2年前は、たしかグミでした。5色のグミでした。

質問です。これだけ多くのことをしてもらっている県立嘉穂総合高校ですが、桂川町は、嘉穂総合高校に対して、どんな支援を行っていますか。

○議長（林 英明君） 大庭教育長。

○教育長（大庭 公正君） 町内に設置してある県立高校という利点を活用しながら、嘉穂総合高校の生徒が作った農産物、パン、加工品など、販売ツールとして、先ほど御紹介がありましたような、ふるさと納税の返礼品の提供とか、青空市の開催等を行っております。

また、新たな取組として、桂川町プラザでは、嘉穂総合高校が作成した学校紹介パネルや紹介動画の展示を実施しており、生徒の確保に苦慮されている学校の広報活動等に寄与していると考えております。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） ただ、それほどいっぱいのこととは思えない。してもらっている以上のことはしていない。してもらっている、ほんの一部をお返ししているぐらいでしょう。

2年前、次のような回答が、実はありました。学校教育課としては、具体的な支援は行っていないませんが、高校生と児童が交流活動を行うことにより、高校生が将来目指すべき進路を方向づけるキャリア教育に寄与しているものと考えます。これだけのことで、そこまで考えとは、ちょっと厳しいかも分かんが、その一部にはなっているかもしれない。だから、これをもっと増やしていったらいいんじゃないですかという提起を、2年前にはしました。

さて、福岡県議会だより第46号、割と最新、これ最新じゃないかな、この中に、次のような記事がありました。資料2の下のほうです。県立高校における地域学への取組を活発にするため、どのように取り組むのかを教育長に尋ねる。答え、社会に開かれた教育課程を理念とする新学習指導要領に基づき、教科書も今度変わります。地域の産業文化や地域課題の解決を題材とした探究活動、地域の産業文化や地域課題の解決を題材とした探究活動、地元企業と連携したオリジナル商品の開発など、地域資源を生かした教育活動を展開している。今後、表彰制度やコンテストを通じて、地域との共同活動を含む学習の成果等を評価し、各高校が切磋琢磨しながら教育活動を充実させ、地域との連携を深められるよう取り組んでいく。地域との連携というのが大きく出

ています。

嘉穂総合高校は、農業食品科、工業科、情報科、普通科総合コースとあります。今以上に連携を深めることで、桂川町に新しい産業や文化が生まれるのではないのでしょうか。また、高校生の皆さんにとっては、地域と関わる中で、新たな自分の存在価値を見出すことができるのではないのでしょうか。そして、桂川町に対する愛着、シビックプライドが生まれるのではと思います。

いずれにしろ、この教育長の答弁に書いてあるようなことが行方の中で、彼らは高校を卒業した後、それが役に立ってくるんじゃないかと思えますし、桂川にも非常に役に立つだろうと。この町にとってもプラスだろうと思えます。

もっと、桂川町と嘉穂総合高校の連携を考えていただきたい、そう思っていますが、町長は、いかがお考えでしょうか。

○議長（林 英明君） 井上町長。

○町長（井上 利一君） 総合高校との連携につきましては、総合高校は、飯塚市からこちらに移転してきました。もう、そのときからいろいろな情報交換等、やっておりますけれども、そういう取組の中で、先ほど教育長のほうからも報告あったとおりです。

今回、コロナの関係もありまして、なかなか高校のほうに足を運ぶ機会がありませんでしたけれども、先日、卒業式に出席いたしました。生徒数の関係等もありまじょうが、本町としましては、教育長が申しましたように、桂川町内に県立高校があるわけですから、この利点を生かしたい。そして、またそのことが学校のためにも、そして、また町のためにも役立つような、そのような取組を、ぜひしていただきたい。ただ、やっぱり、何か知恵が必要なんですね。何か特徴のある取組、そういったものが必要であると思っておりますので、今後の大きな課題だと考えています。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） だから、どうしていくかまで含めて、高校生とともに考えていく。いろんな科がありまして、はっきり言って、一つの商社がつくれるんじゃないかぐらい思っています。機能すれば。そこと桂川町の職員と関わっていく。もしくは商工会も入っていく。ぜひとも、そういった働きかけをしてほしいし、できたら、できたらというか、プロジェクトをつくらせてほしい、町の中にプロジェクトをつくる。プロジェクトと言っているのは、1つの課じゃ駄目です、無理です。できれば学校教育課、産業振興課、財政企画課などが一体となってプロジェクトをつくる。

そのときに行く人間は、できるだけ若い人をお願いします。高校生に近い、そういう人たちで、新しい知恵を出してもらいましょう。失敗してもいいじゃないですか。支えましょう。ぜひとも併せて検討してください。

3月1日、嘉穂総合高校で、町長、言われたように卒業式が行われました。そのとき、町長、議長、教育長、教育課長、文教厚生委員長が来賓として招待されました。そして卒業式場で紹介されました。桂川町にある高校だから招待されたんです。彼らは、そこを大事にされている。桂川町の総合高校と連携してくしていくことは、新しい展開を生むことにつながると思われます。若い世代、チャンスをして伸びていただけたらと思います。よろしく検討し、実際に行ってほしいと思っています。

○議長（林 英明君） 柴田議員、次、5番でしょう。

ここで暫時休憩します。次の会議は20分から始めます。

午前11時08分休憩

午前11時19分再開

○議長（林 英明君） それでは、会議を開きます。柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） 5、高齢者の健幸についてに入ります。

本年度、健幸ポイントに取り組みられました。簡単に事業の説明をしてください。

○議長（林 英明君） 川野課長。

○健康福祉課長（川野 寛明君） 健幸ポイントにつきましては、町民一人一人の健康づくりの意識の向上及び主体的な健康づくりを応援するために、健康診断やがん検診などを受診した方々に対し、ポイント制による付加価値を設け、健康づくりへの積極的な参加を促すことを目的としております。

具体的には、歩数の記録や血圧を測る等の取組、それから、健康診断やがん検診の受診、健康教室への参加等でポイントを付与し、応募要件を達成した方につきましては、商品を贈呈するというような事業でございます。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） 成果、それから課題がありましたら教えてください。

○議長（林 英明君） 川野課長。

○健康福祉課長（川野 寛明君） 成果と課題につきましては、令和4年度からの新規事業でございましたので、他自治体の例も参考にしながら取り組んできたところでございますが、当初50名ぐらいの参加を見込みをしておりました。しかしながら、実際の参加申込みは136名の御申込みがありましたので、参加者については一定の成果があったものというふうに考えております。

それから、目標達成者につきましては、この136名中113名の方が達成をされておりまして、達成率としては84.6%の方が達成されておりますので、こちらについても一定の成果が

あったものというふうに考えております。

また、スマートフォンを活用したアプリの登録も今回行っております。60歳以上の方の登録につきましても、53.4%の方が、半数以上が60歳代以上の方もアプリでの登録がございましたので、こちらについても、ある一定の成果があったものと思っております。

今後の課題につきましては、今年度は参加申込み制ということにしておりますので、申込みを御存じなくて、申込み期限を過ぎた後にお問合せがあった分も数件ございました。

ただ、その中でもやはり目標達成した方もいらっしゃいましたので、こちらにつきましては、次年度、令和5年度につきましては、参加登録というものを廃止をしたり、ポイント対象の事業を増やしていくことによって、今年度参加いただいた方が継続されることはもちろんのこと、また新規で参加いただけるような内容にしていく必要があるというふうに思っております。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） 事業としては結構うまくいったということだろうと思ひまして、今後進めていくということですが、確かにスマホとかがあればいいんだなと思ひました。

町でスマホ講座ってやられていますよね。そういったところでも働きかけたりすれば、ついでに言えば、そこまで設定してあれば、なおいいのかもしれないね。

では、次です。次の質問に入りますが、新たな取組ですが、これは健康全体、対象を高齢者だけに限らず、健康についての本年度の新たな取組がありましたら教えてください。

○議長（林 英明君） 川野課長。

○健康福祉課長（川野 寛明君） 本年度の新たな取組としましては、昨年の12月に飯塚市、田川市、嘉麻市、桂川町、川崎町と健康なまちづくりのための事業連携協定を締結いたしました。関係市町が実施します健康づくり及び健康寿命延伸に関する事業連携を進めることで、関係市町の健康なまちづくりを推進していきます。

具体的な事業連携につきましては、まだ現在、次年度はございませんが、今後、関係市町とできる事業はないかを協議していく形になっております。

それから、町の健康関連でいいますと、15歳から39歳までの小児・AYA世代のがん患者が、住みなれた自宅で、自分らしく安心して生活を送れるよう、在宅における生活を支援する小児・AYA世代がん患者在宅生活支援事業や、産後の初期段階における母子に対する支援を強化することを目的として、おおむね産後2週間、産後1か月に健康診査を受けていただく産婦健康診査事業を行っていくところでございます。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） ありがとうございます。AYA世代が問題になっていたというのは聞いていました。思春期、それからヤングアダルト、若年層のがん患者の部分を支えようとい

う取組と思われれます。

予算はどれぐらいか教えてください。

○議長（林 英明君） 川野課長。

○健康福祉課長（川野 寛明君） 3市2町で締結いたしました健幸なまちづくりのための事業連携については、現段階で予算というものは計上しておりません。

今後は、協議の中で出てくる可能性があるかと思います。

次に、小児・AYA世代の支援事業につきましては、月に6万円を上限として、予算を1人分で計上させていただいております。

それから、産婦健診診査事業につきましては、1回の検診につき5,000円を2回分交付いたします。人数につきましては112人分で計上させていただいております。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） はい、ありがとうございます。詳しくはまた新年度予算の中で説明をお願いいたします。

3に入ります。敬老健幸チケットの配付。健康だったら意欲を持って生活できますし、高齢者になっても地域貢献にも関わっていただけます。かつては、70歳になったら町からお祝金がありました。今は何もありません。

そこで、ささいな提案をします。70歳になったら、体育館やグラウンドゴルフ場で使える使用券をプレゼントする。そこに行けば、出会いや会話が生まれます。ますます健康になります。

なお、ホームページ、桂川町のホームページによれば、グラウンドゴルフ場210円、テニスコート200円、お風呂100円、王塚古墳330円、トレーニングルーム200円、第二アリーナ500円となっています。これを10枚つづりでいくと、平均して2,000円プラスある。2,000円と少し超えるぐらいでしょう。

来年70歳になられる方は223人だそうです。ですから、45万円ぐらいの予算でできますが、実際はチケット代のみです。場所はあるんですから。そして、さらに活用が増えて、いいことじゃないかなと思っております。

高齢になられる皆さんの幸せと健康のために、ぜひ検討をお願いしたいんですが、いかがでしょうか。

○議長（林 英明君） 川野課長。

○健康福祉課長（川野 寛明君） はい、いわゆる公共施設のチケットということでございますが、敬老関連で言いますと、先ほど議員も質問されました敬老祝金と各行政区の敬老会の助成金というのが、いわゆる高齢者への金銭的なものの助成になるかと思っております。

先ほど申されました敬老健幸チケット、こちらにつきましては、やはり幾つかの課にもまたが

っておりますし、今後できるかどうかにつきましては、関係各課、もし可能であれば今後の検討等課題という形でさせていただければと思っております。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） 町長はいかがお考えでしょうか。

○議長（林 英明君） 井上町長。

○町長（井上 利一君） 御提案いただきました内容につきましては、非常に興味深いものがございます。ぜひ、担当課を通じて協議していきたいと思っております。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） よろしく願いいたします。

6、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業について質問します。

タンサがコロナ関連事業を調べ、全国ワースト100事業を発表しました。その中に、桂川町のコロナ対策に関わる2つの事業、海外留学生の保護者に10万円を渡したことが、電子掲示板を設置したことが入っていた。そのことを私は12月議会等で取り上げてきました。

町の皆さんからも、この件はおかしい、許せんという意見は多くいただいています。

12月にも指摘しましたが、ほかにも問題はありました。国が子育て世帯に10万円給付しましたが、これはコロナ禍で子育て世帯が経済的に困っているという実態があったからしたものです。そこで、所得制限を設けました。児童手当をもらっている世帯にのみ10万円が給付されました。2人子供がおって960万円ですから、大体1,000万円と考えましょう。だから、1,000万円の収入がある。私から見れば、ある程度裕福な家庭には子育て給付金が国から支給されていません。

ところが、桂川町はその100万円を超える、100万円近い、もしくは超える収入がある家庭に対して、コロナ対策費から10万円を支給しようとしてきました。だから、私は予算の修正案を出したんです。残念ながら3対6で否決されました。

しかし、それでも私は、桂川町のコロナ関連予算の使い方には問題がある、問題があったと今でも考えています。

資料3の1を御覧ください。事務連絡。内閣府地方創生推進室。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した地方単独事業に対する会計検査院の指摘事項を踏まえた留意事項等について。

会計検査院が問題ありとして、幾つかのポイントを指摘しています。そのことをそれぞれの県に通達し、市町村や担当へ連絡せよという文書です。

この後に1ページ目から16ページまでありました。おかしい事業の例が挙げられています。

そして、資料3の2ですが、大事なことです。全部読みたいんですが、ちょっと時間が足り

なくなったので、10行目あたりの右側。各地方公共団体において、事業終了後に臨時交付金を活用して実施した事業の、実施状況及びその効果について公表するよう要請したとあります。

実施した事業の実施状況及びその効果についての公表を要請と書いてあります。

ここ、下の方には公表を行っている地方公共団体の当該公表に係るURLの一覧で、これを当たりましても、桂川町は出ていません。なお、なぜか不思議なのに、名前があるのにそのURLに行っても出ない地方団体もありました。いずれにしろ、桂川は出ていません。

質問です。コロナ感染症対策地方創生臨時交付金事業について検証等を行われたと思うんですが、実際、この検証は行いましたか。

○議長（林 英明君） 小平課長。

○企画財政課長（小平 知仁君） 先週の2月27日に開催いたしました、桂川町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会におきまして、令和2年度及び3年度の事業につきまして検証をして、お諮りしたところでございます。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） どのようなメンバーでされたのか、教えてください。

○議長（林 英明君） 小平課長。

○企画財政課長（小平 知仁君） 分野が産業分野、行政分野、教育分野、金融分野等の有識者の方に来ていただいて、検証をお願いしたところでございます。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） その中で、2に入りますが、不適切な事業だと、その中で思われるという意見は出ましたか。

○議長（林 英明君） 小平課長。

○企画財政課長（小平 知仁君） 不適切というものが、議員が示された資料の通知の分につきましては、その内容が会計検査院からの意見ということで、事務的なものでございましたので、不適切かどうかという部分につきましては、担当課であるまず当課の方で点検を行っておりまして、不適切な事例はなかったということを確認しております。

検証のときにはおおむね評価していただいた、多岐にわたる事業をしたということで、評価していただいたところでございます。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） 次回はぜひとも私を入れてください。

3です。この結果を公表するように書いてありますが、実施状況及びその効果を公表するように、とあっていますが、公表されていますか。

○議長（林 英明君） 小平課長。

○企画財政課長（小平 知仁君） 今、公表に向けて作業中でございます。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） では、早急をお願いいたします。

町の皆さんのお金を使ったんですから、町の皆さんに知る権利があります。

7に入ります。観光案内所について、町の皆さんの意見にはどのようなものがありますか。

○議長（林 英明君） 小金丸課長。

○産業振興課長（小金丸卓哉君） 令和4年6月開設以降の駅利用者のアンケート内容や、実際に桂川町プラザを御利用いただいているお客様に直接話を伺ったところ、おおむね良好な評価をいただいていると感じています。

具体的には、エアコンが効いた待合室、とても居心地がいいですと、駅がきれいになりましたね。それから、県外から来られた方については、駅降りてウェルカムスペースがあるのは心温まる。それから、カフェ、コンビニが欲しい。それから、桂川町の魅力を感じました、今度大塚古墳に行ってみますという声もいただいております。

その一方で、施設が汚れているとか、清掃の御意見をいただくことがありました。適宜対応しており、快適な空間となるよう努力しているところでございます。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） ちょっといろいろ問題ありという意見のほうが私のほうには来ておりまして、ぜひとも町の皆さんも、議員に言うのも大事ですが、町のほうにも、おかしいよということを直接言ってください。よろしく申し上げます。私のほうでも伝えておきますので。

2に入ります。この観光案内所の年間維持費を教えてください。

○議長（林 英明君） 小金丸課長。

○産業振興課長（小金丸卓哉君） 令和5年度の当初予算といたしまして、日常の管理委託、朝の開け閉め、簡易な掃除につきましては、59万4,000円、年額。

それから、玄関マット等のリース料、年間4万7,000円、合わせまして64万1,000円を計上しているところでございます。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） この観光案内所は、最初は予定になかった施設でした。これは、7日に吉川さんが指摘されているところです。

私も二、三年かかってずっとこのことを聞いてきたし、少しずつ明らかになってきました。

最初は予定になかった施設でした。建設費もかかっているし、これからもずっと維持費がかかります。新年度をどのように活用しようと考えられていますか。教えてください。

○議長（林 英明君） 小金丸課長。

○産業振興課長（小金丸卓哉君） 桂川町プラザにつきましては、昨年6月20日に運用を開始しまして、現在では、情報発信、それから子供たちの作品展示、休憩所として御利用いただいているところでございます。

引き続きこれをするのですが、今後といたしましては、コロナもだんだん明けてきてまして、各種イベントがだんだん再開されようというところでございます。そういった各種イベントの連携やミニマルシェの開催等を検討し、施設の活用拡大、これを図ってまいりたいと考えているところでございます。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） では、南口ができたことによる住民の困惑というところに入ります。

実は、沖縄は昔、米軍施政下でした。1972年5月15日までは米軍支配です。5月15日に復帰ですね。車は実は右側通行でした。それを変えないかん。それを6年後、730、7月30日に一気に変えるんです。少しずつ変えるというのは無理ですから。そこで問題が起きたんです。変えることによってバスの昇降口が右側通行だったんですから、右側にあるんですよ。今度は通りの左側行きますから、左側に昇降口ができるんですよ。バスも変えないかん。

そうすると、それまでここを降りてすぐ行っていた店に遠回りして、結局は行けなくなったりして、行かなくなったりして、物すごい混乱。店によっては非常に不利益を生じるという件がありました。

そこで、この質問なんですけど、南側に、桂川町の駅南口ができたことで、北側に住む皆さんが困っているということはありませんか。

○議長（林 英明君） 原中課長。

○建設事業課長（原中 康君） 北側住民の方の意見というのは、特にございませんでしたけれども、北側店舗の方が、お客様が減少したという意見はございました。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） 産振課のほうには何か話が入ってきていますか。

○議長（林 英明君） 小金丸課長。

○産業振興課長（小金丸卓哉君） 私のほうでも、店舗のお客さんが減りましたという話は伺っているところでございます。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） 町長、実際に駅を南口を造ることによってそのようなことが出てきていまして、不利益を被っている町民がいらっしゃる。何らかの手立ては考えられますか。

○議長（林 英明君） 井上町長。

○町長（井上 利一君） 公共施設を整備することによります、今、ただいまのお客さんが少なくなったという不利益についてですね、これはいわゆる補償の対象ということにはなっておりません。

このために、非常に心苦しいところはあるんですけども、現在の段階では具体的な手立てを取ることができないと考えております。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） まあ、でも桂川町がしたことですので、ちょっとどんな手立てがあるのか、御検討ください。そこが多分大事なところだろうと思いますので。

では、今度は南側に住む皆さんです。南口ができることによって南側に住む皆さん、困ったことが起きていませんか。どうでしょうか。

○議長（林 英明君） 原中課長。

○建設事業課長（原中 康君） 南側の住民の皆様は、駅が使いにくくなったとか、そういった意見についてはお聞きしておりません。逆に、使いやすくなったという意見をいただいております。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） 産振課の方には何かありますか。

○議長（林 英明君） 小金丸課長。

○産業振興課長（小金丸卓哉君） 特に意見はいただいております。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） わかりました。

駐車場についてですが、新年度、何か駐車場に関して、間違えたごめんなさい。一つ上をいかないかんです。

南側駐車場の使用状況と今後の取組でした。

南側駐車場の使用状況、今どうでしょうか。

○議長（林 英明君） 小平課長。

○企画財政課長（小平 知仁君） 使用状況でございますが、令和3年度は延べで3,161台の御利用。今年度につきましては、2月末時点で延べ5,227台の御利用ということで、利用数が増えている状況でございます。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） 町としては、着実に増えているということで、その分、先ほど言われたお店とかは困っているのかなとも思われますね。

新年度、何らかの新たな取組は考えられていますか。

○議長（林 英明君） 小平課長。

○企画財政課長（小平 知仁君） 特に南側で、新たなというものは現在ございません。南北駐車場ともに、駅、南北地区周辺の活性化に資する施設となるべく、また気持ちよく御利用いただけるように、引き続き管理・運営や利用促進のPRに努めてまいりたいと考えております。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） 7日の日、吉川さんの質問に、南側に自販機の設置を検討するという話を建設事業課長が言われていました。そのことはいいことなんですけれども、駐車場全体を考えたときに、今後考えても、あまりにも広過ぎる。2分の1か3分の1にして、他の活用を考えた方が町の役に立つと思うんですが、いかがですか。

○議長（林 英明君） 井上町長。

○町長（井上 利一君） 私の方からお答えしたいと思います。

駐車場の利用状況については、今後いろいろと変化をしていくものと思います。

コロナの関係もございました。そういう意味からしまして、今の状態ではもう少し様子を見たいと思っております。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） 私の見た感覚では、五、六台しか止まっていないのが10台ぐらいになったなと思っているんですよ。ですから、将来的にあそこは100台近く止まることはあり得ないでしょう。併せて、様子を見ながら検討ください。

では、次ですが、住民の方に聞かれたんですが、北側のバス駐車場の活用は考えないのかと。バスが南側に行きよるから、そこは何か活用しないんですかと言われました。何か考えてありますか。

○議長（林 英明君） 原中課長。

○建設事業課長（原中 康君） 北側バス駐車場の今後の使い方ということで、以前は西鉄バスの乗り入れ乗降場としての利用がありました。また、地元のタクシーの待合場という使い方もございました。今は、地元のタクシー会社、そして飯塚市バスのみ乗降場として利用されております。

今後、交通結接点として利便性の高い利用方法があるかどうか、検討していきたいと考えております。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） そうですね。ちょっと検討を、少しずつしていく必要があるのかもしれない。

また、雨や雪が階段を上がっていたら降り込んでくるんです。ちょっと危ない、危険という、

危ないという意見がありますが、確かに上のほうは開いているんですよ。何らかの対処を考えてありますか。

○議長（林 英明君） 原中課長。

○建設事業課長（原中 康君） 今、自由通路の階段については、側面の壁を開放型という形で、上から1メートル程度空間が開いておりますので、そこから雨天時には雨が降り込むという状況が起こっております。

上の雨の降り込みを防ぐという方法は、非常に構造上難しい状況でございますので、雨天時の滑りについて、こういった階段のステップに滑り止め等ができるかどうか、こういった検討なし、滑りについての注意喚起などを行うよう、努めていきたいというふうに考えております。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） よろしくお願ひします。

待合室の設置についてに入ります。

町政報告で、待合室の設置について、JRは拒否したとのが話されておりました。

吉川さんも尋ねられたことなんですが、交渉には誰が行かれたのですか。行かれた全員を教えてください。

また、相手方の人数と役職名を教えてください。

○議長（林 英明君） 原中課長。

○建設事業課長（原中 康君） 桂川駅ホーム上の待合室設置の要望書につきましては、桂川町より、井上町長、そして山邊副町長、それと私、建設事業課長の3名で要望書の提出に行っております。

相手先につきましては、JRの筑豊篠栗鉄道事業部、直方駅の西側に位置するんですけども、その部署に要望書を提出に行っております。

JRにつきましては、筑豊篠栗鉄道事業部の部長と、当施設の課長、それと助役さんという形で、その3名の方に要望書に対する対応をしていただいたという状況でございます。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） うん、あの、もう少しポジション的に強い立場の人との交渉をした方がスムーズにいったのかなと思うんですが、ちょっと私はそのところは、よくわかりません。今後調べてみます。

実は、私は、かつてですね、月に一、二回は博多に行っていました。JRを利用していました。

多分、町長はあまり乗られないのかなとも思うし、議員さんにもJRを使われる方は少ないだろうとは思っています。ところがですね、私は駅舎が新しくなった頃は、コロナ禍でしたので、駅舎は使ってなかったんです。だから、待合室がなくなっていることを知らなかったんです。大塚

さんの質問でようやく知りました。多分、皆さんもそこでやったんじゃないかなと思います。

で、気がつかないうちに待合室が撤去されていたんです。この責任は重大ですよ。駅舎を造った私たちの責任なんです。

担当課長、町長、議員の責任です。総務経済建設委員でも当然凶面が出てきたはずですよ。だから、うちの問題なんです。桂川町、こちらがミスから始まったことです。町長、JRから拒否されたと言われましたが、待合室の課題はどう今後されますか。

○議長（林 英明君） 井上町長。

○町長（井上 利一君） 今、議員が言われました拒否という言葉ではございません。要望書は受け取っていただいているわけですから、それについての回答をいただいたと。口頭ですけれども、回答をいただいたということで、行政報告で報告をさせていただきました。

回答をいただいたわけですから、このことについては、吉川議員の質問にも答えましたように、あえて重ねて要望するようなことは差し控えたいと思っております。

今後のことについて、先ほど、これも吉川議員の質問に答えた形ですけれども、いわゆる状況が変わらなければ、やっぱりあの狭いホームに待合室を造るのは困難であるということですから、そのことは真摯に受け止めたいと思っています。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） JRが文書を拒否したとか一言も言っていない。待合室の設置について拒否したと言ったんです。それは拒否したんでしょう。待合室の設置について考えると言ったんですか。できませんと言ったんでしょう。それは拒否でしょう。まあいいや。不可能と言われたんですね。

町長は、あそこ実際に行かれたかどうかわからないんですけど、文教厚生委員会に行ったんですよ。所管じゃないからわからないので。朝早く。そしたらですね、場所があるんですよ。2・3階のエレベーターで降りて、降りたすぐのところにベンチみたいなのがあるんです。その奥です。誰も使ってないところがあります。あの突先です。あそこに造れますよ。ちょっと行ってみてください。そして、もう一度検討して、何なら一緒に行きましょう。

だって、町長の責任とか言っていない。私たちも責任があるんです。認めた側の責任があります、議員には。賛成多数で認めたんですから、私たちも責任がありますので、一緒に動きたい。

また、議員に、こんなのがしてくれって言われることや、してくれでもせいでもいいから言ってください。動きます。これはないことにしたらいかんです。私たちの責任なんです。

9です。王塚古墳への案内です。

かつて、駅のサイン計画について尋ねましたが、現在、何もできていません。

7日の大塚さんの質問に、観光案内図等はようやく新年度の道路事業費で対応すると言われま

した。遅過ぎます。今頃、道路事業費から等ではなく、新駅舎オープン時にできているべきなんです。早急に取り組んでください。町長ずっと言っています。よろしくお願いします。いいでしょうか。

○議長（林 英明君） 井上町長。

○町長（井上 利一君） このことにつきましては、これまでの一般質問の回答でも申し上げました。課長の方でも具体的にに取り組んでいくということにしていますので、よろしくお願いします。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） 王塚古墳が、最初に戻りますが、文化の薫る町の象徴みたいに言われました。その王塚古墳への行く道、そのことの象徴、分かりやすくないというより、ほとんどないんです。その際、非常に大事だと思います。その1点でも文化は薫っていません。

時間が来ました。柴田、18回目、一般質問を終わります。

○議長（林 英明君） 暫時休憩します。再開は1時からにします。

午前11時56分休憩

午後1時00分再開

○議長（林 英明君） 会議を開きます。4番、杉村昭彦君。

○議員（4番 杉村 明彦君） 4番、公明党、杉村です。通告書に従い、一般質問を行います。先ほどの柴田議員とちょっとかぶるところもあるとは思いますが、もうちょっと詳しく聞きたいので、このとおりに進めたいと思います。

まず、健康ポイントについてですね。今年度から始まった健康ポイント事業ですが、紙ベースのやつとアプリのものとありましたが、どのくらいの申込みがあって、どのくらいの方が目標を達成したのかを詳しく教えてください。

○議長（林 英明君） 川野課長。

○健康福祉課長（川野 寛明君） 申込みにつきましては、ふくおか健康アプリ、ポイントアプリの方が91名、それから、チャレンジシート、いわゆる紙ベースの方が45名の計136名の方が申込みをされております。

その中で目標を達成した人数につきましては、アプリの方が77名、チャレンジシート、紙ベースの方が36名の計113名でございます。

達成率につきましては、アプリが84.6%、チャレンジシートが80%、全体で83.1%ということになります。

○議長（林 英明君） 杉村君。

○議員（４番 杉村 明彦君） なぜこれをお聞きしたかと申しますと、一応、私も、この健康ポイントを押まホのアプリで参加したのですが、今回の3,000ポイントをです、結構、スマホを持ち歩いてさえいれば、そんなに苦勞せずに達成することができたような気がします。今年度初めての試みということで、こういう3,000ポイントになったのかと思いますが、来年度は、できれば幾つかレベルをつくって、そのレベルによって景品が変わるなどをすれば、まあダイエットなんかにも、つながるか。まあ、見てのとおり、私には全く負荷がかかりませんでした。体重の減量にもポイントをつけたりすると、やる気が出るかもしれませんので、ダイエットでメタボを脱出してみたいものです。

もし、来年度の計画が教えることができれば、ちょっと、商品とか景品など教えてください。

○議長（林 英明君） 川野課長。

○健康福祉課長（川野 寛明君） 今年度につきましては、6月から9月に参加登録の申込みということでさせていただいておりますので、先ほど柴田議員の御質問に重なりますが、アプリについては受付終了後にも参加の希望をされる方もいらっしゃったことから、来年度については、参加登録につきましては廃止をし、ポイントの付与事業についても、高齢者の体操教室、それから総合体育館で行っておりますウォーキング教室等も、この対象事業ということで行っていく方向にしております。

議員が申されました目標を達成した方へのインセンティブにつきましては、今年度につきましては、まず新規事業ということで、達成した方全員に、いわゆるクオカードをお渡しするというようにしては、来年度につきましては、今現段階で考えているところにつきましては、アプリについては、基本は3,000ポイントをベースにしたいと思っております。その上で、より頑張られたというか、より目標を達成された方については、6,000ポイント以上をためられた方につきましては、商品を差別化といいますか、違う商品を、その3,000ポイントの方と6,000ポイントの方で商品等を分けていきたいというふうに考えているところでございます。

詳細については、また広報紙、それから回覧板等で配布をさせていただきたいと思っております。

○議長（林 英明君） 杉村君。

○議員（４番 杉村 明彦君） ありがとうございます。この健康ポイント事業は、町民の皆様がポイントをためるために運動をしたり、健診を受けたり、健康を維持して医療費を削減するのも大きな目標です。

そこで、ジェネリック薬品を使うことでも医療費の削減ができますが、よかったらこれでもポイントがつくようにしてはどうかと思いますが、いかがでしょう。

○議長（林 英明君） 川野課長。

○健康福祉課長（川野 寛明君） この事業に参加して健康意識を高めていただくによって健康な体づくりを行っていくことが、医療費の削減につながっていくというふうに考えております。

議員、申されましたジェネリック薬品を使った場合にもポイント付与ということでございますが、本町で今使っておりますふくおか健康ポイントアプリにつきましては、福岡県が作成したものを本町で使っておりますので、ポイントの付与について、ちょっと若干、システム上の部分で、独自の設定というのが難しいのが現状でございます。

次年度以降も、こういった形で、こういったものについては検証等行っていきますので、いわゆる県のほうのアプリのほうがバージョンアップといたしますか、されていくようになれば、こういった議員申されましたものについても必要性を考慮しながら検討課題というふうにさせていただきたいと思っております。

○議長（林 英明君） 杉村君。

○議員（4番 杉村 明彦君） マイナンバーカードなどが保険証として普及すれば、こういうことも結構容易になるのではないかと思いますので、今すぐとは言いませんけど、桂川町独自の進化で、いいものができることを期待します。

次の質問に移ります。

新旧の豆田稲築線についてです。4月から県道と町道の管理を交換される豆田稲築線ですが、その道路の附属物、街路灯や防犯街灯、ガードレールなどの安全設備も全て町の管理になるのでしょうか。

○議長（林 英明君） 原中課長。

○建設事業課長（原中 康君） 今、福岡県が管理しております県道豆田稲築線、既存の又手交差点から土居の交差点までの区間について、4月1日より桂川町が管理するようになるんですけども、そういった道路に附属してある電柱とか街灯、バス停、看板等、こういったものも桂川町が維持管理していくという形になります。

○議長（林 英明君） 杉村君。

○議員（4番 杉村 明彦君） その場合、防犯街灯が一本一本、九電との契約でついていると思いますが、それも、その防犯街灯の電気代とかも桂川町が支払うことになるのでしょうか。

○議長（林 英明君） 原中課長。

○建設事業課長（原中 康君） 防犯街灯につきましては、現在の状態でも、県道に、桂川町の児童生徒さんが安全なように、つける防犯街灯については、桂川町で占用の願を出して、つけさせていただいております。

したがって、その電気代については、桂川町のほうで支払っておるという状況でございます。

す。

○議長（林 英明君） 杉村君。

○議員（4番 杉村 明彦君） それは、もともと桂川町で支払っていたということですかね。

○議長（林 英明君） 原中課長。

○建設事業課長（原中 康君） それで、県道豆田稲築線に、今、設置しております、ちょっと以前、福岡県のほうで設置して町に移管した街灯については、平成27年時点で桂川町のほうで電気代等を払う、こういった状況になっております。

○議長（林 英明君） 杉村君。

○議員（4番 杉村 明彦君） 逆に、桂川町から県に移管したほうの防犯街灯は、県が支払うわけではないということですね。

○議長（林 英明君） 原中課長。

○建設事業課長（原中 康君） そうですね。今後、桂川町役場交差点から総合高校を經由しまして、元の旧上山田線が道路になっております、山渕笹尾線ですね。こちらのほうに抜ける道路は、福岡県が管理することになるんですけれども、そこに今設置しております防犯街灯についても、これまでどおり桂川町が防犯街灯については電気代等を支払うと。県が管理する道路に街灯を建てさせていただいておるといふそういった扱いで管理していくこととなります。

○議長（林 英明君） 杉村君。

○議員（4番 杉村 明彦君） 新しく豆田稲築線になるほうの、総合高校から稲築側の歩道ですね、あそこは全く防犯街灯がなくて、結構、真っ暗なんですよね。そこで、今度、県道になるから県が設置しているかなと思ったら、県に尋ねると、やっぱり県は防犯街灯は設置しないと聞きました。

そこで、旧豆田稲築線の、今、吉隈方面についている街灯なんですけど、あそこ50基前後あるんですけど、結構、短い間隔ですらっとついてるんですよ。その間を間引いて、新しいほうに持っていったらどうでしょう。初期投資はかかりますが、どっちみち、あるものですから、継続経費は変わらないような気がします。移設できれば一番いいのですが、それも意外と工事費がかさみそうです。

それから、あそこも見たと、まだ電気がLEDにもなっていないように見えます。そこもLEDに交換すれば、結構、経費とかが浮いて、新しいほうの県道に、余計、防犯街灯がつけやすくなるのではないかとはいえます。

以前にもあそこ質問いたしましたが、豆田稲築線の歩道、あそこを明るくして、お散歩ロードにしたいと私は思っています。暑い夏、日が沈んでからも安心してウォーキングができるようにお願いしたいのですが、いかがでしょう。

○議長（林 英明君） 原中課長。

○建設事業課長（原中 康君） 今、県のほうで管理しております旧道のほうの街灯につきましては、議員、申されますとおり、ちょっと間隔が非常に短い間隔に街灯がたくさん建っているという状況になっております。これを、ちょっと明るさが過剰ということで電源を止める、こういった対応は可能だと思っております。

今、ちょっと防犯街灯を調べたところ、大体、ポール設置に8万強ですね。電灯に2万5,000円から3万円ぐらいの費用で設置しておる状況で、これを間引いて持っていくとなると、この2万5,000円という費用が、その材料費が要らないという形になろうかと思うんですけども、ちょっと取付け手間とか、こういったことも考慮して、今後、検討してみたいというふうに思っておりますけれども、現状としては、ちょっと非常に、今ついたものを外すというような状況の問題もあるのかなということで、今後、調べていきたいなというふうに思っております。

今、新道の豆田稲築線につきましては、今年度3か所、商工会の前から設置しております、順次、そういった新しい箇所にも設置していく要望も出ておりますので、対応していきたいなというふうに考えております。

○議長（林 英明君） 杉村君。

○議員（4番 杉村 明彦君） じゃあ、順次、あそこずっとつながっていくと思っておって大丈夫ですか。

○議長（林 英明君） 原中課長。

○建設事業課長（原中 康君） 防犯街灯につきましては、今、総務課さんのほうで対応しているんですけども、地域の区長さんの要望等を集約しまして、優先度の高い箇所を順に設置している状況でございますので、そういう状況で対応したいというふうに考えております。

○議長（林 英明君） 杉村君。

○議員（4番 杉村 明彦君） ぜひ明るい安全な歩道をよろしく願いいたします。

以上で一般質問を終わります。

○議長（林 英明君） 次、2番、下川康弘君。

○議員（2番 下川 康弘君） 2番、下川でございます。通告書に従いまして、一般質問させていただきます。

まず1つ目に、桂川町のデジタル（DX）化についてという項目でさせていただきます。

なぜこの質問をしようと思ったかと言いますと、今年の2月、これは私ども通信業界が取っている月刊誌です。これは私も30何年ずっと読んでいるんですけども、これの表紙から

30ページ、「デジタル田園都市国家構想、地域DXで地方が変わる」というのが特集であったんですね。あれって、すごいなとして目を通して。その中で書いてあるのが、「デジタル化で住民の利便性の向上及び行政事務の効率化を図るために」ということで、この構想がデジタル庁とありますので、それを基で始まったみたいです。

ということで、私、それで調べたのですが、先ほど出ています隣接、隣、飯塚市、嘉麻市の件がさっきも出ておりましたが、私も調べてみました。飯塚市は、これは平成30年から、ちょっと取り組んでありました。平成31年3月に、飯塚市地域情報化計画推進委員会の委員をも設置されております。その中で、いろんな、どうしたらいいかこうしたらいいかというのを検討されてきて、その中で出た中に、子供の見守りシステムの調査研究とか、単身高齢者等の見守りシステムの調査研究、書かない待たせないスマート窓口の推進等々が、その研究、検証の中で、こういうのをしたらどうかと推進委員会の中で出たというのがありました。令和4年4月、去年ですね、行政経営部業務改革DX推進課というのが設置されております。

これ嘉麻市に至っては、令和4年、去年ですね、同じく、4年の10月に、デジタル戦略課というのが、もう設置されております。令和4年12月に、嘉麻市デジタル推進協議会というのも設置されております。これも同じく、やっぱり住民の利便性を図るということでも設置がされております。

そして、これは交付金が出るんですね、その内容によっては。嘉麻市さんの場合はコンビニ交付サービス事業を実施するという計画で、1,466万4,000円の交付金を頂いてあります。それから飯塚市に至っては、空き家解消プラットフォームのデジタル実践、空き家流通プラットフォーム構築事業という項目で4,825万円の交付金が出ております。

ですから、デジタルといえば、昨日も出ておりましたけれども、Wi-Fi環境にしてもデジタルなんです。それから、GIGAスクール構想で子供たちがタブレットを持って帰る、学校の中がWi-Fi環境を整う、これもデジタル化なんですね。このデジタルというのは、もうどんどんどんどん、今進行している。だから、これに対して、やっぱり私は交付金をもらうために言っているわけじゃなくてですね、せっかく国がこういうふうにやりましょと。地方が元気にならないと、今後の、先ほどから出ていますけども、人口減少の解消とかはできないですよというように思いで、これが始まったと聞いております。

この中で一つですね、ここで私、質問なんですけど、桂川町で、このデジタル構想に対しての取組ですね。協議会等を立ち上げたり、よそはしているんですけども、桂川町はどういうふうな取組をしてありますか。まず、総務課長に聞きたいと思います。

○議長（林 英明君） 横山課長。

○総務課長（横山 由枝君） 国におきましては、デジタル技術の活用によって地域の個性を生か

しながら地方を活性化し、持続可能な経済社会を実現するため、デジタル田園都市国家構想や地方自治体のデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進しております。

本町におきましては、飯塚市、嘉麻市のようにDXに特化した部署はございませんので、総務課、人事電算係が通常業務に加えまして、DXの業務を今担っているような状況でございます。

○議長（林 英明君） 下川君。

○議員（2番 下川 康弘君） ありがとうございます。電算係が、今、それに取り組もうとしているという、ただ、できないですね、人がいないからというような気が私はしています。

それで、両市とは、定住自立圏協定により広域連携を結ばれていますね。総合戦略を複数の自治体で連携して取り組むことで、導入コストも安く抑えられるし、同じ住民サービスを、例えば、桂川町でできるサービスを嘉麻市でも受けられる、桂川の方が嘉麻市でも同じサービスを受けられる、こういうことも連携すればできるんじゃないかなと思うんです。

こういう定住自立圏協定が結ばれていますので、これは町長にお伺いしたいんですが、嘉麻市、飯塚市、市町でよくそういう会を持たれていると思いますので、お互いに今の状況とかを、桂川町もそれ教えていただいて、使えるもの、使えないもの、それから何か参考になるものを、ここで今から一から勉強するというのは大変です。こういう本があるから本買うてきて読みなっせちゅうても、なかなか読めるものではないと思う。だから聞けるものは聞いて、そういう取組だったらこっちも使えるよねというのをやられたらどうかなと思うんですが。

町長は、さっきの柴田議員の質問の中でも、今後の構想の中で、デジタル化、DX化の推進を図るという言葉も出ておりましたので、町長のほうにお伺いしたいんですが。両市、隣接の両市と提携して、いろんなことに取り組んでいくということに対しては、町長、いかがですか。

○議長（林 英明君） 井上町長。

○町長（井上 利一君） 先ほど総務課長が報告しましたように、現在の状況では、本町の場合、人員不足といいますか、特に、専門的な知識や経験を有する人材が必要であるということについては痛感をしているところです。

そういう中で、新たな取組の一つとして、こういうデジタル化の推進、これを進めていく必要があるということを行政報告の中でもしたところです。

具体的に、議員が御指摘の定住自立圏は、この定住自立圏の中でどうかというのは、ちょっと疑問があります。と言いますのは、定住自立圏といったときには、飯塚市と桂川町で協定を結びますが、飯塚市と嘉麻市もそうなんですが、桂川町と嘉麻市の協定はないんですね。ですから、そういう意味では、2市1町でという枠組みは、これはもっと別な形で考える必要があるかもしれません。

いずれにしましても、デジタル化の推進というのは、もう時代の要請ですから、本町としても

遅ればせながらも、とにかく、まずは人員の確保、そして、より具体的に、どのように進めていったら一番効率的なのか、そのことも含めて検討していきたいと思っております。

○議長（林 英明君） 下川君。

○議員（2番 下川 康弘君） ありがとうございます。今言われたように、やっぱり人員が少ないということも、やっぱりあると思うんですね。これと質問の2番と重なる、2番がですね、機構改革についてというのを今度入れております。これとかぶりますので、もう続けて、そのまま行かさせていただきます。

今答えられたように、やっぱり新しいデジタルのことで、例えば、今、電算室の方に、この言い方、失礼ですけども、片手間というか、別の業務もあるからですね、別のこともしながら、じゃあ、このデジタルのことを勉強してこいと言っても、ちょっと厳しいんじゃないかと私は思います。

今、デジタル推進業務をそういうふうに行っているんですけども、こういう分野というのは、やっぱりそういうのに特化した人がおるんですね。そういう、デジタルとかものすごく好きな人がですね。ここの筑豊のいいところは、九工大があるんですね。それから近畿大学もあります。大学にはインターンシップ制度というのがあります。これは、会社とかにとっても、そういうできる人を探すのにものすごくいいんですよ。

その学生が2週間なり1か月なり、会社のほうに来てくれます。そこでいろんな情報を教えていただけるんですね。それによって、私の会社側は、すごく得なんですけども、じゃあ、学生さんは何の得があるのかというたら社会の勉強になるんですよ。自分が卒業して社会に入る、そのときの前もっての勉強ができるということで、それは私どもの民間は、インターンシップ協会というところをお願いして、そこから紹介していただくというやり方です。

ですけれども、行政の場合は、今でも何か大きな委員会をつくったときに、近畿大学の先生に来ていただいたり、九工大の先生とか、そのパイプはあると思うんですよ。そこにいて、こうやって、うちの町もデジタル化していかないかんから、もしそういうのに特化して詳しい子がおったら、ちょっと紹介してくれんかなと、教えてくれんかなと、そういう勉強会をしてくれんかなという話を持っていけば、それは聞いてくれそうな気がします。多分聞いてくれると思います。

今、桂川町の職員数を、この間、聞いたら、121人、それから、さらに会計年度任用職員の方、短時間の方も含めて100人ぐらいおられます。じゃあ、この200人、全部でですね、これが多いか少ないかというのは、私はその当事者じゃないんで分からないんですけども。これは皆さん、各課の課長さんたちが、ここにおられますが、皆さんの考えで、これ、うちは足りないとか、うちは多いとか、多いと言う人は多分ないと思うんですね。もっとこうすれば効率よく仕

事が回せるんじゃないかとかいう、そういうヒアリングの場を、町長、一回持っていただいて、今までの流れ、慣例で、この課、この課、この課ってあると思うんです。ここの学校教育課、社会教育課であります。この課が、本当にこの課として必要なのか。じゃあ、こことここを合わせて別の課をつくったらどうなんかとかいうのも一つの案じゃないかなという気がします。

この間、嘉麻市のほうを調べよったら、嘉麻市さんの産業振興課というあれがありますね。あそこ、どんどんどんどん仕事が増えようですね。商工係や、それから観光PR係、まちおこし係、今度は企業誘致係、このまちおこし係というのが一番最後に出たと思うんですけども、観光PR係というのも何年か前ですよ。今、西日本新聞とかをよく見たら、嘉麻市のこと、結構載っているんですよ。何でこんな載つとるんって、俺、聞いたですよ。この課がやっていると。PR係がおるということで、その子たちが、いろんな情報を発信する。

それから、今あそこに、「原田らぶ子」さんですか、嘉麻市出身の方がおられます。あの方とうまく、一緒にコラボしながら、原田さんはテレビ局に、ものすごく顔がありますので、そういうのをやられている。だから、上手だねと思うんですよ、紹介としては。

それから今、「カホテラス」ですか、何か、「カホテラス」じゃないで、山のね、ボルダリングとか何かしようところありますよね。あんなのにしても、すごく何かいろんな意味で嘉麻市さんは、やっています。市として、財政がどうのこうの、そこは分かりません。ただ、周りから見たときに、元気やなど。このまち、元気やなどという印象を、私はものすごく受けるんですよ。

そういった意味で、桂川は、この小っちゃな町、真ん中でいい町をつくろうとのは町長も言われていますんで、ここで皆さんの知恵を出し合って、何かをする方法、それと外部から人を引っ張ってくるというのは、今派遣もありますし、それから臨時、臨時と言いませんね、年度任用職員とか何かありますね、あんなのとかお願いして、何か方法をいろいろ考えて、人が足りないからできないじゃなくて、これをしたいからそのために人をどうするんだというふうな発想、これも発想の展開だと思います。

お金の問題も、いろんな知恵を出せば、交付金、補助金等々もあります。これを生かして、ぜひ、隣、飯塚市、嘉麻市に負けないような、勝ち負けではないんですが、元気のあるまちづくりを町長と一緒にやりたいと思いますので、町長、人を増やすとかそういった方法に関しては、町長のお考えがあれば教えてください。

○議長（林 英明君） 井上町長。

○町長（井上 利一君） 議員のほうからいろいろ御提案をいただいたところです。大学とのタイアップとか、そういったことについては、当然、取り組んでいかなきゃいけない部分でありますし、また、各課に対するヒアリング等も、これも通常、業務的に行っております。

特に、外部とのそういう接触といいますか、協力関係を築こうとするときには、まずは内側と

いいですか、行政の内部で、それをきちんと受ける受皿というのが、どうしても必要なんですね。ただ単に、外部に依頼するだけでは、もう前に進みませんので、町としての方向性というものをきちんと示しながら協力をお願いをするというスタンスになろうかと思います。

いずれにしても、いろんな課題があることは間違いありません。このデジタル化も含めて、そういう意味で、積極的に取り組んでいく必要があると思っておりますし、私の一つの責任としては、職員にモチベーションを高く持ってもらう。そのためにどうしたらいいかということも含めて、課題として考えていきたいと思っております。

○議長（林 英明君） 下川君。

○議員（2番 下川 康弘君） ありがとうございます。本当、職員のモチベーションを上げるということは、すごく大事ですから、そういうのを、私は得意なのは、飲みニケーションなんですよ。飲んで話す、それが得意なんです、そういうのもすごく大事なんで、皆さんと仲良く——仲良くという言い方はおかしいですね、してもらったらいいかなど。

ただ、私もちょっと会社、小っちゃい中でやっていますけども、私も70です。70になったら正直ついていけないんですよ、デジタルとかそういったものに。こうして携帯電話を売っていますけども、これ私、分からないんで、もう部下に会社を譲りました。お前がやれということで。だから、今の工事、うちも工事もやっていますけども、これについて、私現場に行っても、ほんと、「オーライ、オーライ」と言う警備員の役しかできないんじゃないかと思うぐらいです。

ですから、若い人にそういうのをどんどんどんどん勉強してもらって、教えてもらいながら、社長、こうしたらいいと思えますよ、こういうふうなことをやりましょうというのが、うちの会社の今のやり方ですね。これは、もうしょうがない。

ただ、最終的に失敗したときは私の責任なんです。だから、町でもそうです。最終的に何か事が起これば町長の責任であります。だから、これはもう最後の責任者ではしょうがないんですけども。

だから若い人たちがどんどん意見を出して、こうしたらいいですよというのが聞ける町ですね、行政になっていただければ、もっともっといいまちづくりができるのかなというふうに思っていますので、そういうふうに町長も心を開いて、若い人との対話に力を入れてください。

以上で終わります。

○議長（林 英明君） これで一般質問を終わります。

ここで吉川紀代子君から、3月17日の一般質問における発言で、3月7日、訂正の申出がありますので発言を許します。吉川君。

○議員（6番 吉川紀代子君） 日本共産党の吉川でございます。吉川紀代子でございます。

一昨日、私の一般質問3、給食完全無償化についての中で、直方市、宮若市、鞍手町、小竹町

は、完全無償化が実現することになりましたと発言いたしました。このことについて執行部から指摘があり、この4市町につきましては、桂川町と同様に、新型コロナウイルス感染緊急支援対策補助金を活用しての期間限定での給食費徴収免除であることが確認できました。給食費の完全無償化が実現したという私の発言は間違っておりましたので、誤解を招くとともに、この4つの市町にも大変御迷惑をおかけすることとなり、ここに訂正をさせていただきたいと思っております。

○議長（林 英明君） 次、議案の訂正について、執行部より訂正の申出がっておりますので発言を許します。横山総務課長。

○総務課長（横山 由枝君） 議案の差し替えについてのお願いでございます。

議案書34ページをお願いいたします。3月2日に上程いたしました議案第5号についてでございます。

本ページ下段に記載しております第1条の2、所掌事務におきまして、号番号が、1、2、2となっているところを、1、2、3に改め、議案を差し替えをお願いしたいと思っております。

御了承いただければ、本日議会終了後にタブレットの議案を差し替えたいと思っておりますのでよろしくをお願いいたします。

○議長（林 英明君） ただいま総務課長からの説明のとおりです。御了承願います。

日程第2. 議案第18号

○議長（林 英明君） 議案第18号令和4年度桂川町一般会計補正予算（第5号）についてを議題といたします。

本案については、総務経済建設委員会、文教厚生委員会に付託しておりましたので、委員長の報告を求めます。竹本委員長。

○総務経済建設常任委員長（竹本 慶吉君） 議案第18号令和4年度桂川町一般会計補正予算（第5号）について、総務経済建設委員会の審査結果を報告いたします。

当委員会に関する主なものは、歳入予算では、11款地方交付税において、普通交付税の追加計上がなされています。なお、本補正後の普通交付税留保財源額は、2,095万8,000円となっております。

歳出予算では、2款総務費において、嘉麻市バスの利用料に伴うコミュニティ交通利用補助金と、西鉄バス筑豊株式会社の路線バス、碓井線、27番線の運行に係る赤字補填額の決定見込みによる西鉄バス路線運行補助金の追加計上がなされています。なお、3月2日の本会議において、嘉麻市バスの回数乗車券が100円券の14枚つづりが1,000円である旨の説明がありましたが、100円券の12枚つづりが1,000円と訂正がありましたので申し添えます。

当委員会は、審査の結果、当委員会に付託されました案件については、原案に全員賛成であり

ます。

以上、報告を終わります。

○議長（林 英明君） 続きまして、柴田委員長の報告を求めます。

○文教厚生常任委員長（柴田 正彦君） 文教厚生委員会に関する主なものは、歳入予算では、15款国庫支出金及び16款県支出金において、障害者自立支援給付に係る国県補助金が、決算見込みにより追加計上されています。15款国庫支出金では、新型コロナウイルスワクチン接種に係る補助金が追加計上されています。

歳出予算では、3款民生費において、障害者自立支援給付費が訓練等給付費増に伴い、追加計上されています。

4款衛生費では、飯塚休日夜間急患センター運営費負担金が追加計上されています。

また、新型コロナウイルスワクチン小児集団接種事業負担金が確定により追加計上されています。

当委員会は、審査の結果、当委員会に付託された案件については、原案に全員賛成です。

○議長（林 英明君） これより質疑を行います。委員長の報告に対し、質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（林 英明君） 質疑なしと認めます。

これより討論を行います。討論ありませんか。吉川君。

○議員（6番 吉川紀代子君） 日本共産党の吉川紀代子です。18号議案に反対の立場から討論に参加いたします。

この18号議案には、西鉄バスへの補助金、補助追加として110万9,000円が計上されております。西鉄バスから、赤字を理由に毎年約500万程度が計上されてきました。もう五、六年になります。

私たちが、私のほうの住んでおります桂川町の東のほうは、完全にその五、六年前から廃止になって住民は大変困っております。中には、おかしいと、私の税金の一部が廃便になった。一度も通らないようになった西鉄に、何で補助金として出さなければならないか、おかしいという声も届いております。

また、この桂川町の西のほうに住んでおられる方も、減便をして便利になったんでしょうか。不便だとそういう声も、私のほうには届いております。

このように、住民にとってメリットではない、むしろデメリットのほうが多い、このようなことはやめて、町独自に町民の利便性を図るように方向転換するべきではないかと考え、私は反対をいたします。

○議長（林 英明君） ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（林 英明君） これで討論を終わります。

反対討論がありますので、これより議案第18号を採決します。

起立により採決いたします。本案は、原案のとおり決することに賛成の方は起立願います。

[賛成者起立]

○議長（林 英明君） 起立多数であります。したがって、議案第18号令和4年度桂川町一般会計補正予算（第5号）については、可決することに決定しました。

日程第3. 議案第19号

○議長（林 英明君） 議案第19号令和5年度桂川町一般会計予算についてを議題といたします。

これより質疑を行います。質疑ありませんか。柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） ちょっと待ってください。準備があります。10点近くありますので途中で1回切りますが、よろしいですか。

○議長（林 英明君） はい、どうぞ。

○議員（3番 柴田 正彦君） 令和5年度桂川町一般会計予算ですが、まずこれは、吉川議員が質問されたところなんです、質問というか、電気代について述べられたことです。電気代は、かなり今回アップしています。予算の中で、何%全体的にアップで見込まれているのか。それから、以前、電気代を補正で上げるときに、九電が、結局、契約を打ち切ったんだけど、より安価なところを求めて探しますと言われました。それはどうなっているのか。これは1つ目の質問です。

2つ目。31ページ、14款1項5目2節、ここで都市公園使用料のところ、都市公園使用料67万3,000円が皆減になっています。そして、ゆのうら体験の杜キャンプサイト使用料が皆増になっています。この皆減になった理由、皆増になった理由、それから都市公園の使用料、前年度どれくらい使われたのか、使用料がどれくらいあったのかを教えてください。

3点目。73ページ、6目、ここの18負担金補助及び交付金で、2つの負担金が皆減されています。嘉飯都市圏活性化推進会議負担金43万円、筑豊フェア実行委員会負担金20万6,000円、この2つが皆減されています。なぜかを教えてください。そして、そこにあります地方創生移住支援事業補助金、それからその下、結婚新生活応援事業補助金、これが昨年同様のお金、200万と600万円上がっていますが、昨年どのくらい使っていたのかを教えてください。

まず1回、ここで切ります。

○議長（林 英明君） 小平課長。

○企画財政課長（小平 知仁君） じゃあ、ちょっと全てではありませんけど、まず電気代の予算の上昇率ですね、そこについてでございますけども、この案件が出たのが、ちょうど当初予算の編成中でしたので、いろいろ勘案しまして、各課の要求額から60%増しで計上したところでございます。

そして、31ページの、ゆのうら関係の使用料でございますけれども、都市公園の分が皆減になって、ゆのうら体験の杜キャンプサイト使用料が皆増になったということですが、これは名前を入れ替えたということですね。もともと都市公園の使用料の分が、ほとんど、このゆのうら体験の杜キャンプサイト使用料でございましたので、分かりやすいように名前を改めましたということでございます。

予算額につきましては、去年が63万7,000円ですね。今年は103万2,000円ということでございます。

それから歳出側の嘉飯都市圏活性化推進会議と筑豊フェアの負担金につきましては、こちらは、県のほうと、嘉飯都市圏であれば、飯塚市、嘉麻市、桂川町、筑豊フェアであれば筑豊全市町村の共同でしていたわけなんですけども、県が今後、これまでのプロジェクト実施を中心とした地域振興から、市町村の政策立案推進への支援を中心とした地域振興に重点を移していくということで、令和5年度から転換されましたので、その関係で廃止となったので皆減となっております。

それから、地方創生移住支援事業補助金、こちらにつきましては、実績は、まだございません。ちょっと東京圏とか名古屋圏、大阪圏から、こちらに就職をされるとか、ちょっと条件がなかなか厳しくて、これ県内でいろいろ、県内のほかの市町村でもやっているんですが、県内でもあんまり実績はないというふうに聞いております。

それから、結婚新生活応援金の実績でございますけども、こちらは、令和2年度が9件、195万6,000円、令和3年度が5件、153万円、令和4年度現在が11件、334万円ということとなっております。

以上でございます。

○議長（林 英明君） 小平課長、今度からもう少しゆっくりしゃべっていただくようお願いしておきます。横山課長。

○総務課長（横山 由枝君） 電気代についてでございます。どこか電力を探したのかという御質問ですが、探しております。探していく中で、2月14日に、約11か月ぶりに、九州電力が新規の受付をするという情報をキャッチいたしましたので、そちらのほう、ウェブのほうで申込みをいたしました。申込みが殺到して、今回受付まではかなっていないのが現状でおります。現在も高圧電力で、12施設分の電力が安定供給できるという電力会社を、ちょっと現在も探して

いるような状況でございます。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） まだ探せていないということで、ちょっと非常にこれは大きいですね。やっぱりね。早急にというか、私がちょっと手が出らんところなんですけど、よろしく願いしておきます。名古屋、東京、大阪圏からの事業というのは、結局は一応、あったらいかんから残しているちゅうことでいいんですね。

すいません、総務のものに限って質問します。文教は13日から説明と、それから審議がありますので、総務に限って今回は質問させていただきます。

次、77ページ、18節地域公共交通会議負担金というのが皆増です。そして、前のページ76ページ、ここで前年度まで10目1報酬で、地方公共——あれ、いいのかな。委員会報酬が15万6,000円上がっていたのが皆減になっています。この地域公共交通会議負担金が皆増になっている、この前ページと関係があると思うんですが、この状況なり理由を説明してください。

○議長（林 英明君） 小平課長。

○企画財政課長（小平 知仁君） 御説明いたします。

地域公共交通会議の件は、一般質問で、るる御説明したところであるんですけども、今年度は立ち上げるために、まず、町の予算で会議を立ち上げる予算を上げております。そして、会議立ち上げた以降は、この地域公共交通会議自体が事業の実施主体となります。そこで、そちらのほうに負担金をお支払いして、その中で委員さんの報酬であるとか事業費を払っていただくということになりますので、こういう計上と変わっております。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） 負担金なんですね。はい、分かりました。

続きまして、136ページ、12節委託料、ため池ハザードマップ作業業務委託料というのが300万上がっています。前年度は400万です。これは毎年作っているのでしょうか、教えてください。

次、139ページ。ここは何目になるのかな。すみません、ちょっと分かりませんが、一番上のところの段です。新規就農者育成総合対策事業補助金というのがあります。皆増、675万。それに対して消えたのが、昨年は農業次世代人材投資事業補助金というのがありました。非常に似た名前ですが、前年度の農業次世代人材投資事業、これはどんなものなのか。そして、本年度提起されていますところの、新規就農者育成総合対策事業なるものは、どんなものかを説明してください。

そして、皆減した理由、皆増した理由。さらに、去年のちょうど3倍になっているのは何か意

図があるのか。以上説明、ここまでしてください。

○議長（林 英明君） 小金丸課長。

○産業振興課長（小金丸卓哉君） まず、136ページ、ため池ハザードマップ300万円の分でございますが、去年は400万円でございます。去年は4池造って、去年というか令和4年度ですね、4池造るようにはしておりました。令和5年度については3池ということで300万。ため池につきましては、対象ため池は重点ため池というのが21池指定されております。それを令和2年からずっと続けておまして、令和5年度で最終年という計画でございます。

続いて、139ページですね、新規就農者育成総合対策事業補助金675万円計上しておりますが、これは皆減されました農業次世代人材投資事業、これが名前が変わりまして、皆減と皆増ということになっております。金額につきましては、昨年度が人材投資で225万、これは1名の方の経済面での支援を夫婦型で計上しておりました。令和5年度につきましては、経済面での支援がお二方で150万円の2名で300万と、もう一つ新しい制度になりまして、施設の導入費の補助が新たにつけ加わりました。その分の375万円、これが追加されて昨年度よりは多いという内容になっております。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） 農業というのは、かなり、僕は、この町、もっと大事にせなやろうと思っております。

友達がうちに来ました。「桂川町って商店街がないんやね」ってびっくりしてました。と同時に、「ああ、田んぼか、農業の町」と言われました。その割には農業の町にしては、施策はあまりない。一般質問で言いましたように、有機農業等をされているところがあるのに、そののでこ入れがないなと思っております。ぜひとも総務経済建設委員会の中でも論議をお願いいたします。

では、次の質問です。これも農林水産業に関わる分で、141ページ、2目12節委託料。これは森林調査業務委託料というのがあります。昨年度は、町有林調査業務委託料です。これが変わった理由、想定はできますが、教えてください。

続いて——一旦ここで切ります。ごめんなさいね。農林水産業でお願いします。

○議長（林 英明君） 小金丸課長。

○産業振興課長（小金丸卓哉君） 141ページ、森林調査業務委託料ということで88万計上しております。内容は、昨年度と一緒なんですけど、対象を町有林だけではなくて、私有林も含めての部分ということで御理解いただきたいと思っております。

○議長（林 英明君） 柴田君。

○議員（3番 柴田 正彦君） 分かりました。字のとおりでした。

じゃあ次です。あと2つあります。151ページ、土木費3目7報償費。ここに、講師謝金とあるんです。公園費で講師謝金、これは皆増なんですけれども、なんで公園費のところ、何で講師謝金、謝礼が、謝礼です、あるのか理解できていません。何らかのことをされるのかなと思うので、そのことを説明してください。

次、消防費です。これ最後になります。消防費の1目……

○議長（林 英明君） 何ページですか。

○議員（3番 柴田 正彦君） 18節のずっと続く分になります。160ページ、上から1行目ですね。飯塚地区総合防災訓練負担金が1万5,000円入っていますが、これ、去年はなかったはずですか。どういうことなのか。

それからその2段目下、多分これは、服だと思いますが、福岡県女性消防操法大会出場補助金200万。200万という皆増が行われていますが、内容と、その目的について教えてください。以上です。

○議長（林 英明君） 小平課長。

○企画財政課長（小平 知仁君） まず151ページの公園費の中の講師謝礼でございますけれども、こちら、ゆのうら体験の杜でイベントする際に、有償でも講師を招くことを、ちょっと考えたいなということで計上をしております。

○議長（林 英明君） あとは。横山課長。

○総務課長（横山 由枝君） 160ページの消防費でございます。飯塚地区消防防災訓練負担金ですが、令和5年度は、飯塚地区消防におきまして、合同で防災訓練を行うようになっております。その負担金でございます。

福岡県女性消防操法大会出場補助金につきましては、女性消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図るため、こちらの大会のほうが開催されております。飯塚市、嘉麻市、桂川町の消防団員で輪番で回しております、令和5年度は桂川町が当番ということで上がっております。

200万円の内訳としましては、参加選手の報償や費用弁償、夜間練習用の照明工事等やホース等の備品購入、そういうふうなもので約200万という形で計上させてもらっております。女性消防団員に補助金としてお渡しいたしますが、最後、精算という形で処理をしていくものでございます。

○議員（3番 柴田 正彦君） 以上です。

○議長（林 英明君） ほかに質疑ありませんか。大塚君。

○議員（5番 大塚 和佳君） 私も何点かありますので、もう一括で行きたいと思います。

まず歳入ですが、森林環境譲与税の使い道、今までずっと森林環境譲与税をどうされるかということで聞いてきましたので、それが1点目ですね。

2点目に、78ページの2款1項10目の諸費で、AED購入等補助金が、私の記憶ですが、もう四、五年前に笹尾1が買われ、導入されて、それ以降どういふふうな状況になっているかと。それと、笹尾1とか導入されているのであれば、研修とかしていただきようかちゅう、そこら辺までお知らせいただきたいし、来年度予定があるかも含めたところ。

あと137ページの6款1項3目の農業者年金の、額は小さいんですけども、農業者年金といって、国民年金と別に農業者の方が入られる年金で、これ、たまにラジオで言っているんですよ。それで、どういふふうな取組をされているかということと、今現在、どのくらいおんしゃるかなということですよ。

あと811の土木総務費の、145ページですね、12節の町有地草刈り委託料、これが若干上がっておりますので、駅南側の道路購入時の分も入っているのかなと。残地の草刈り等が多分出てきていると思うし、結構あれ、あるので、そこら辺のとをお知らせください。

あと833、151から152ぐらいで、ゆのうら体験の杜の来年度予算をどのくらい組んであるか。今、柴田議員が言われた報酬とか全部含めたところでお知らせいただければと思います。以上です。

○議長（林 英明君） 誰ですかね。小金丸課長。

○産業振興課長（小金丸卓哉君） まず、森林環境譲与税の使い道について御報告いたします。これは、また引き続き、どういったところに森林整備をしていくかという調査費、それから、その調査に従って、どこを整備していくか、具体的な話が出たときに森林整備のほうに使っていくということでございます。

○議長（林 英明君） 次、横山課長。

○総務課長（横山 由枝君） AEDについてでございます。AEDにつきましては、令和元年度に笹尾1区のほうで購入をしております、それ以降の購入はございません。

令和5年度につきましては、現在、予定は聞いておりませんが、今後、区長会の方で改めて周知等はさせていただきたいと思っております。

また、笹尾1区の講習状況につきましては、現在把握しておりませんので、この議会終了後、確認をいたしまして、委員会等で御説明させていただけたらと思っております。

○議長（林 英明君） 小金丸課長。

○産業振興課長（小金丸卓哉君） すみません、農業者年金について、ちょっと聞き逃しておりましたので、もう一度すみません。説明をお願いします。

○議員（5番 大塚 和佳君） 農業者年金というのは、国民年金と別に農業者の対象の変わる方は、全部じゃないんですけども、その方たちが、先ほど言いましたように、農業者年金と別な年金をもらえるという制度があるんですよ。これは、国と町が、国からいろいろなことがあるんで

すけども、そこら辺で、加入促進というのを15万7,000円ですか、額は少ないんですけども、これは農業者の方にとっては、ものすごくいい制度だと私、思っているんですよ。

それで、加入促進の方法や内容の説明を、今までどうされたかなと、もしされていないなら来年度どうされるかなと。

それと、あと一つは、今現在、加入者がどんくらいおんしゃるかなと、そこです。

○議長（林 英明君） 小金丸課長。

○産業振興課長（小金丸卓哉君） 農業者年金につきましては、福岡県の農業会議という組織がありまして、そういう中で促進していきましようという話は常々伺っているところです。農業者の皆様には、パンフレット等があるんですけども、まだまだ周知まで至っていないというのが実情でございます。

今までどれくらい加入されているかというのは、ちょっと今、手元に資料がありませんので、また後日、御報告させていただきたいと思います。

○議長（林 英明君） 原中課長。

○建設事業課長（原中 康君） 145ページ、8款1項1目12節委託料のうち、町有地草刈り委託料481万2,000円について、昨年が364万5,000円ということで120万ほど、ちょっと増の計上をさせていただいています。

理由としましては、山渕笹尾線の東小学校のセブンイレブンから飯塚方面に下っていく、あの沿線に、ちょっと立木がかなり茂っておって、子供たちの通学路に当たるとかということで、なかなか手持ちの土木作業員さんのほうで伐採するとかということが非常に厳しいということで、この委託料を50万上げさせていただいております。

あと、改良豆田団地、町営住宅の豆田団地の河川側と、その上の段に豆田団地という町営住宅があるんですけども、その間に、シノダケのかなり茂ったところがございます、ここについて、やはり作業員のほうで刈っていただいていたんですけども、なかなか業者委託を必要とするような状況がございましたので、ここを50万入れております。

あと、椿団地につきましては、シルバー人材センターのほうにも委託を頼んでおるんですけども、今、解体等、空き家等になるということで、なかなか草刈りが追いつかないということで、ここについても増額の計上をさせていただいて、合計120万強の増額とさせていただいております。

以上です。

○議長（林 英明君） ほかに質疑ありません。まだ、もう一つ。小平課長。

○企画財政課長（小平 知仁君） ゆのうら体験の杜の費用でございます。151ページの8款3項3目の公園費の1,319万7,000円の内数となります。金額では905万8,000円

となっております。

以上です。

○議長（林 英明君） 大塚君。

○議員（5番 大塚 和佳君） 今、建設事業課長の回答の中で、駅南側の道路購入時に残っていた残地があるきですね、その分も入っているのかということでお聞きしたんですが、もし入っていないなら入っていないで大丈夫なんですか。

○議長（林 英明君） 原中課長。

○建設事業課長（原中 康君） その内容は入っておりません。

○議長（林 英明君） 大塚君。

○議員（5番 大塚 和佳君） そうしたら、それは作業員さんたちをお願いしているという理解でいいんでしょうか。

○建設事業課長（原中 康君） いいです。

○議長（林 英明君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（林 英明君） これで質疑を終わります。

議案第19号については、会期中、総務経済建設委員会、文教厚生委員会に付託いたします。

ここで暫時休憩いたします。再開は16分から再開します。

午後2時06分休憩

午後2時15分再開

○議長（林 英明君） 会議を開きます。

日程第4. 議案第20号

○議長（林 英明君） 議案第20号令和5年度桂川町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算についてを議題といたします。

これより質疑を行います。質疑ありませんか。吉川君。

○議員（6番 吉川紀代子君） この議案に関しまして、いつもこの事業は終わっているからということで言われるから、ああ、そうなんだなと思って、迂闊に、もうずっとスルーといいますか、オーケー、オーケーで来たんですけど、今回ちょっと時間があつたもので、よく考えながら見させていただきました。

そして、すいませんけれど、ここの8ページに住宅資金の、その入ってきた詳細が書いてございます。そこで、この1目、2目、3目で住宅改修資金貸付け、次、2目が住宅新築資金貸付け、

そして3番目に、宅地取得資金の貸付けと書いてありました。すいません、私、今まで気がつかなかったんですよ。住宅新築貸付け一本で、何かそんなごちゃごちゃ書いてあるけど、よく似た言葉が羅列されているものでよく分からなかったんですけど、よく見てみると一つ一つ違うんですよね。

それで私は、今から質問させていただくのは、この住宅改修資金貸付金が本年度は5万9,000円入ってくるという見込みで上げてあります。次は93万5,000円ですか、次が56万4,000円書いてあります。それぞれに住宅改修資金の現時点における残高、それから、住宅新築資金貸付金の残高、宅地取得資金貸付けの残高を教えてください。

○議長（林 英明君） 秦課長。

○税務課長（秦 俊一君） ただいま吉川議員御質問の分で、元金が幾らかということによろしいですかね。細かい数字までは、ちょっと持ち合わせていないんですけど、概算としては、1目の住宅改修資金貸付金元利収入ですけども、こちら元金と利子を合わせまして593万7,000円になります。

次の2目の住宅新築資金貸付金元利収入、こちらも元金と利子を合わせたものですけども、こちらが6,241万4,000円。

3目の宅地取得資金貸付元利収入、これも元金と利子を合わせたところで3,768万5,000円となっております。

以上です。

○議長（林 英明君） 吉川君、いいですか。

○議員（6番 吉川紀代子君） はい。

○議長（林 英明君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（林 英明君） これで質疑を終わります。

議案第20号については、会期中、総務経済建設委員会に付託いたします。

日程第5. 議案第21号

○議長（林 英明君） 議案第21号令和5年度桂川町土地取得特別会計予算についてを議題といたします。

これより質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（林 英明君） 質疑なしと認めます。

議案第21号については、会期中、総務経済建設委員会に付託いたします。

日程第6. 議案第22号

○議長（林 英明君） 議案第22号令和5年度桂川町国民健康保険特別会計予算についてを議題といたします。

これより質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（林 英明君） 質疑なしと認めます。

議案第22号については、会期中、文教厚生委員会に付託いたします。

日程第7. 議案第23号

○議長（林 英明君） 議案第23号令和5年度桂川町後期高齢者医療特別会計予算についてを議題といたします。

これより質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（林 英明君） 質疑なしと認めます。

議案第23号については、会期中、文教厚生委員会に付託いたします。

日程第8. 議案第24号

○議長（林 英明君） 議案第24号令和5年度桂川町水道事業会計予算についてを議題といたします。

これより質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（林 英明君） 質疑なしと認めます。

議案第24号については、会期中、総務経済建設委員会に付託いたします。

○議長（林 英明君） 以上で、本日の日程は全部終了しました。

本日は、これで散会します。お疲れさまでした。

午後2時20分散会
